

(様式第10)

信大病総0318号

令和5年10月5日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人信州大学長 中村 宗一郎

信州大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
氏名	国立大学法人 信州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

信州大学医学部附属病院
-------------

3 所在の場所

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
電話 (0263) 35-4600

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							
脳神経内科, 糖尿病・内分泌内科, 腫瘍内科, 緩和ケア内科							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科	○	7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科							
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	移植外科	2	形成外科	3	リハビリテーション科	4	病理診断科	5	児童精神科
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40				677	717

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	253	233	486	看護補助者	30	診療エックス線技師	0
歯科医師	5	14.9	19.9	理学療法士	18.3	臨床検査技師	63.5
薬剤師	33	14	47	作業療法士	11	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	4.4	その他	0
助産師	69	1.3	70.3	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	706	8.3	714.3	臨床工学士	21	医療社会事業従事者	5
准看護師	1	0	1	栄養士	0	その他の技術員	26.7
歯科衛生士	4	3	7	歯科技工士	2	事務職員	150.4
管理栄養士	5	7.6	12.6	診療放射線技師	42.4	その他の職員	24.7

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	53	眼科専門医	14
外科専門医	33	耳鼻咽喉科専門医	12
精神科専門医	10	放射線科専門医	20
小児科専門医	33	脳神経外科専門医	8
皮膚科専門医	12	整形外科専門医	28
泌尿器科専門医	8	麻酔科専門医	23
産婦人科専門医	17	救急科専門医	5
		合計	276

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 花岡 正幸 ) 任年月日 令和 5 年 4 月 1 日

平成29年4月1日～令和2年3月31日:医療安全管理室長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	459.3 人	12.0 人	471.3 人
1日当たり平均外来患者数	1353.9 人	75.8 人	1429.7 人
1日当たり平均調剤数	900.0		剤
必要医師数	126		人
必要歯科医師数	2		人
必要薬剤師数	16		人
必要(准)看護師数	284		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要		
集中治療室	645 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	14 床 有 有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー 有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合] [移動式の場合]	床面積 台数	216 m <sup>2</sup> 0 台	病床数	21 床
医薬品情報管理室	[専用室の場合] [共用室の場合]	床面積 共用する室名	99 m <sup>2</sup>		
化学検査室	508 m <sup>2</sup>		(主な設備)	全自動マイクロプレートEIA分析装置	
細菌検査室	128 m <sup>2</sup>		(主な設備)	Anoxomat Mark II (細菌診断装置)	
病理検査室	232 m <sup>2</sup>		(主な設備)	凍結組織切片作製装置	
病理解剖室	145 m <sup>2</sup>		(主な設備)	写真撮影器具	
研究室	241 m <sup>2</sup>		(主な設備)	なし	
講義室	949 m <sup>2</sup>		室数	10 室	収容定員 404 人
図書室	88 m <sup>2</sup>		室数	1 室	蔵書数 9,500 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	86.9	%	逆紹介率	68.9	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		13,200		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11,572		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,398		人
	D: 初診の患者の数		16,801		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
田内 克典	社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 病院長	○	医療に係る安全管理に関 する識見を有する者	無	1
宗村 和広	信州大学 経法学部 教授		法律に関する 識見を有する者	無	1
土屋 恭子			医療を受ける者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
信州大学医学部附属病院のウェブページ上で公開している。	





## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	ハイブリッド手術室での脊柱側弯症手術	取扱患者数	48
当該医療技術の概要 ハイブリッド手術室でロボテックC-armにより撮影されたCone beam CT画像で仮想現実を作り出し、術中CTナビゲーションによる側弯症手術を行う。コンピュータナビゲーションシステムを利用して椎弓根スクリューを挿入し安全に側弯症手術を行う。			
医療技術名	フローダイバーター(パイプライン、フレッド)留置術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 大型かつ広頸の脳動脈瘤に対して行う治療法である。コイルを用いないので、動脈瘤の縮小が期待できる。			
医療技術名	マイクロアレイ染色体検査	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 マイクロアレイを用いて染色体微細構造の変化を解析し、患者DNAにおけるコピー数の変化を解析する。			
医療技術名	結合織疾患の次世代シーケンス解析	取扱患者数	87
当該医療技術の概要 次世代シーケンサーを用い、結合織疾患(マルファン症候群、エーラーズ・ダンロス症候群等)患者を対象に、54種の遺伝子を解析している。			
医療技術名	知的障害の次世代シーケンス解析	取扱患者数	17
当該医療技術の概要 知的障害患者を対象に、次世代シーケンサーを用いて、知的障害関連の80種の遺伝子解析を行っている。			
医療技術名	デスマプレッシン点鼻療法	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 D4ST欠損を伴うエーラーズダンロス症候群患者の巨大皮下血腫に対して、デスマプレッシン点鼻療法を行い、良好な経過を導き出している。			
医療技術名	てんかんの次世代シーケンス解析	取扱患者数	21
当該医療技術の概要 てんかんの遺伝子解析を行っている。			
医療技術名	遺伝子改変T細胞療法	取扱患者数	11
当該医療技術の概要 難治性血液腫瘍に対する免疫細胞治療。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術	取扱患者数	102
当該医療技術の概要 daVinciシステムを使用した手術。			
医療技術名	人工尿道括約筋埋込術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 前立腺癌術後の尿失禁に対する新しいdeviceを使用した手術。			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術	取扱患者数	41
当該医療技術の概要 daVinciシステムを使用した手術。			

医療技術名	生体腎移植術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下膀胱全摘除術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 daVinciシステムを使用した手術。			
医療技術名	腎移植(生体および献腎)	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 慢性腎不全患者に対する生体および献腎移植の実施。			
医療技術名	膀胱に対する体外衝撃波結石破砕術(ESWL)	取扱患者数	19
当該医療技術の概要 慢性膀胱炎で発症することの多い膀胱に対する体外衝撃波を用いて結石を破砕する治療。県内では信州大学医学部附属病院と諏訪赤十字病院で実施している治療法。			
医療技術名	被包化膵壊死に対する内視鏡的壊死組織除去術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 重症急性膵炎後の感染した壊死組織に対し、内視鏡的に瘻孔を形成し壊死組織を除去する治療。全県から信州大学に紹介を受けている。			
医療技術名	内視鏡的乳頭切除術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 十二指腸乳頭腫瘍に対して内視鏡的に切除する治療。県内では信州大学医学部附属病院と佐久医療センターで治療が行われている。			
医療技術名	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 従来は開腹で行っていた悪性度の高い組織型の子宮体癌IA期に対する根治術(傍大動脈リンパ節郭清術を含む)を、低侵襲な腹腔鏡下手により施行する。腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術は技術難易度E(特殊技術を有する専門医が行うもの)の高難度新規医療技術に指定されている。			
医療技術名	ロボット補助下子宮体癌手術	取扱患者数	17
当該医療技術の概要 開腹手術や腹腔鏡下手術で行っていた子宮体癌IA期に対する手術をロボット(ダ・ヴィンチ手術システム)支援下に行う。執刀はダ・ヴィンチ手術システムの使用のためにIntuitive Surgical社による認定ライセンスを受けた医師が行う。			
医療技術名	腹腔鏡下広汎(準広汎ふくむ)子宮全摘術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る)の登録施設において、子宮頸癌のIA2期、I B1期、II A1期に適用される技術であり、腹腔鏡で行うことで開腹手術と比較して低侵襲で施行できる。			
医療技術名	キムリア療法	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 難治性白血病に対するCAR-T細胞製剤による治療。20程度の認定施設でしか実施できない。			
医療技術名	運動誘発電位測定	取扱患者数	19
当該医療技術の概要 胸腹部大動脈瘤手術、脊髄・脊椎手術では、術中・術後に脊髄梗塞が生じ、下肢麻痺になることがある。術後の下肢麻痺を防止するために、術中に運動誘発電位を測定し、脊髄運動路の機能を持続的に評価する。			

医療技術名	X線透視化神経ブロック	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 末梢神経に直接または近傍で局所麻酔薬や熱凝固を行い、痛みを軽減する。針が適切な位置にあるかをX線を使用して確認しながら行う。			
医療技術名	CTガイド下腹腔神経叢ブロック	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 末期がん患者の除痛目的にCTガイド下で腹腔神経叢に神経破壊薬を注入する。			
医療技術名	血管奇形に対する硬化療法	取扱患者数	16
当該医療技術の概要 皮膚や筋肉、軟部組織における血管奇形に対して、CT等下に病変を穿刺。硬化剤として無水エタノールなどを注入する治療である。リンパ管奇形のみならず、動静脈奇形、静脈奇形にも放射線科と連携して硬化療法を施行している。			
医療技術名	顔面骨骨切り術	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 複雑な先天異常の顔面骨異常に対し、術前3D骨模型を用いた計画のもと、骨切り術を施行している。			
医療技術名	リンパ管静脈吻合術	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術を保存的療法に加えて施行している。			
医療技術名	マイクロサージャリーによるがん切除後の再建手術	取扱患者数	51
当該医療技術の概要 悪性腫瘍手術により広範に切除された組織を再建するためにマイクロサージャリーを行う。			
医療技術名	肺癌におけるサルベージ手術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 進行肺癌に対する初回治療で、手術適応無しと判断され薬物療法や放射線化学療法が行われた後の経過において、局所再発等に対し外科的切除の適応と判断した症例に対する根治的治療(サルベージ手術)を行った。薬物療法などの進歩に伴い、近年その有用性が報告され始めた手術であるが、初回治療の影響により、局所の癒着や硬化が強く、高難度な手術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下肺葉切除	取扱患者数	14
当該医療技術の概要 Intuitive社のda Vinciを用いたロボット支援下の肺癌に対する肺葉切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のSertificateが必要であり、高度な手術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下縦隔腫瘍手術	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 Intuitive社のda Vinciを用いたロボット支援下の縦隔腫瘍(胸腺上皮性腫瘍や縦隔神経原性腫瘍など)に対する切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のSertificateが必要であり、高度な手術である。			
医療技術名	小型肺癌に対するRFID技術を用いた術前マーキング法	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 術中に触知不可能な小型肺病変に対し、現在CTガイド下のフックワイヤーを用いたVATSマーカー留置を施行しているが、空気塞栓による脳梗塞のリスクなどがあるとされる。今回、気管支鏡化にICチップを数カ所留置し、術中にプローベを用いてチップの位置を同定しながら手術を行うRFID(Radiofrequency identification)技術を用いて小型肺癌や転移性肺腫瘍に対して切除を施行した。本技術はこれまで数施設のみ、世界でも(当科で1例目実施時)15例程度のみに行われていない技術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下肺区域切除	取扱患者数	66
当該医療技術の概要 Intuitive社のda Vinciを用いたロボット支援下の肺癌に対する肺区域切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のSertificateが必要であり、ロボット支援鏡視下肺葉切除と同等、もしくはそれ以上に高度な手術である。			

医療技術名	スマート治療室における脳腫瘍手術	取扱患者数	16
当該医療技術の概要 術中MRIおよび情報統合ミドルウェアを用いた脳腫瘍手術。			
医療技術名	てんかん外科手術	取扱患者数	9
当該医療技術の概要 難治性てんかんに対する外科手術。			
医療技術名	CAD/CAM冠への置換	取扱患者数	14
当該医療技術の概要 放射線治療(口腔を含む)を受ける患者の金属補綴物をCAD/CAM冠への置換へ置換することにより、放射線粘膜炎が軽減できる。			
医療技術名	口蓋補助床	取扱患者数	12
当該医療技術の概要 口蓋補助床(PLP、PAP)を用いることにより、嚥下、発音機能を改善する。			
医療技術名	広範囲顎骨支持型装置	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 顎骨欠損、吸収が強い症例にインプラントを用いた義歯を作製し、機能報告させる。			
医療技術名	気管支鏡インターベンション	取扱患者数	39
当該医療技術の概要 気道狭窄や気道出血などに対して、気管支鏡的に、バルーンや高周波治療(アルゴンプラズマ凝固法(APC)含む)を用いた気道の拡張や、腫瘍切除を行う。また気道ステント留置も行っている。			
医療技術名	超音波気管支鏡下針生検(EBUS-TBNA)	取扱患者数	51
当該医療技術の概要 気管・気管支周囲リンパ節などの病変に対して、超音波を用いてリアルタイムに、安全で確実な針生検を行うことができる。			
医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 CTにて病変、気管支鏡の位置を確認しつつ検査を行うことで、CTで指摘された病変から確実に組織検査を行うことができる。			
医療技術名	超音波内視鏡下膵嚢胞ドレナージ術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 超音波内視鏡下に経胃的に膵嚢胞を穿刺、ドレナージチューブやステントを留置する。			
医療技術名	経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 食道アカラシアに対する内視鏡を用いて筋層切開を行う新しい治療法。			
医療技術名	消化管腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同切除(LECS)	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 内視鏡のみで切除困難な消化管発生の粘膜下腫瘍や十二指腸腫瘍などに対して腹腔鏡と内視鏡両方を用いて安全に腫瘍を切除できる治療法。			
医療技術名	内視鏡下咽喉頭手術(ELPS)	取扱患者数	11
当該医療技術の概要 早期の咽頭・喉頭腫瘍に対して、耳鼻科医による喉頭展開下に行う内視鏡的な腫瘍切除術。通常の手術と比較して低侵襲な治療法。			

医療技術名	十二指腸腫瘍に対する浸水下内視鏡的切除(Underwater EMR)	取扱患者数	28
当該医療技術の概要 早期の十二指腸腫瘍に対して、腸管内浸水状況下に内視鏡的に粘膜切除を行う方法。従来の内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と比較して安全性が非常に高く腫瘍の切除が可能である。			
医療技術名	体外式衝撃波結石破砕術(ESWL)	取扱患者数	19
当該医療技術の概要 衝撃波を発生させる装置を用いて衝撃波エネルギーを体内の結石に照射し、細かく砕く治療。内視鏡での除去困難な膀胱石に対して行う。			
医療技術名	内視鏡的胆道鏡下結石破砕術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 経口胆道鏡下に電気水圧衝撃波を用いて、従来の方法で除去困難な胆管結石を除去する治療。			
医療技術名	バルーン内視鏡を用いてERCP(内視鏡的逆行性膵胆管造影検査)	取扱患者数	47
当該医療技術の概要 胃・胆道・膵術後症例における膵胆管疾患に対して、通常の内視鏡で膵胆管の造影検査が困難な場合にバルーン内視鏡を用いることで検査が可能。			
医療技術名	クライオ生検	取扱患者数	14
当該医療技術の概要 クライオプローブという冷却された器具を用いて、肺組織を凍結して採取する方法。			
医療技術名	持続血液浄化療法	取扱患者数	27
当該医療技術の概要 腎不全を伴う重症患者に対し、丸1日かけて透析療法を行う。			
医療技術名	体外補助循環①	取扱患者数	17
当該医療技術の概要 心不全を伴う重症患者に対するサポート治療。大動脈バルーンパンピングを用いた治療。			
医療技術名	体外補助循環②	取扱患者数	19
当該医療技術の概要 心不全, 呼吸不全を伴う重症患者に対するサポート治療。PCPS, ECMOを用いた治療。			
医療技術名	一酸化窒素療法	取扱患者数	15
当該医療技術の概要 肺高血圧を伴う心臓手術後患者に対する治療。			
医療技術名	体外補助循環	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 心不全, 呼吸不全を伴う重症患者に対するサポート治療。インペラを用いた治療。			
医療技術名	がん遺伝子パネル検査に基づくプレジジョンメディシン	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 甲状腺癌において、がん遺伝子パネル検査に組織の一部を提出し、遺伝子の変異を確認して適切な治療を選択する。			
医療技術名	難治性腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注法	取扱患者数	22
当該医療技術の概要 癌腹膜播種や肝硬変などに伴う難治性腹水症に対し、当院では独自の手法による腹水濾過濃縮再静注法(DC-CART)を行っている。この方法により腹水の全量排液、効率の良い蛋白回収率、低い合併症を実現している。			

医療技術名	難治性自己免疫疾患に対する血漿交換療法	取扱患者数	24
当該医療技術の概要 難治性自己免疫疾患に対し、疾患特性や患者の全身状態を考慮し様々な種類の血漿交換(単純血漿交換、二重膜濾過血漿交換、血漿吸着療法)を選択し行っている。			
医療技術名	炎症性腸疾患に対する顆粒球吸着療法	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 炎症性腸疾患に対して活性化白血球を除去する顆粒球吸着療法を行っている。			
医療技術名	集中治療における持続血液濾過透析とエンドトキシン吸着療法	取扱患者数	35
当該医療技術の概要 集中治療室における循環動態の不安定な患者に対して持続血液濾過透析やエンドトキシン吸着療法を行っている。			
医療技術名	腎移植	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 末期腎不全患者に対し、生体および献腎移植を行っている。			
医療技術名	胸腔鏡下食道癌手術	取扱患者数	15
当該医療技術の概要 胸腔鏡下にて食道癌手術を行う。			
医療技術名	ロボット支援下直腸癌手術	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 ロボット支援下に直腸癌手術を行う。			
医療技術名	ロボット支援下胃切除術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 ロボット支援下に胃癌手術を行う。			
医療技術名	生体肝移植術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 末期肝不全患者に対する臓器移植術。			
医療技術名	脳死肝移植術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 末期肝不全患者に対する臓器移植術。			
医療技術名	腹腔鏡下肝左葉切除術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 5歳の肝芽腫の患者に対して腹腔鏡下肝左葉切除術を施行した。			
医療技術名	エキシマレーザーを用いた心内リード抜去術	取扱患者数	17
当該医療技術の概要 ペースメーカーやICDを植え込んだ後、感染症の合併により植え込んだリードを抜去する必要がある場合がある。これまではリードの抜去に開心術が必要で患者の負担が大であったが、エキシマレーザーを用いることにより開心術を行うことなくリード抜去を実施している。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	68
取扱い患者数の合計(人)	1,131

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	74	下垂体性PRL分泌亢進症	4
2	筋萎縮性側索硬化症	15	75	クッシング病	6
3	脊髄性筋萎縮症	7	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	34
5	進行性核上性麻痺	6	78	下垂体前葉機能低下症	64
6	パーキンソン病	109	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	3
7	大脳皮質基底核変性症	4	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1
10	シャルコー・マリー・トウース病	5	84	サルコイドーシス	62
11	重症筋無力症	75	85	特発性間質性肺炎	71
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	67	86	肺動脈性肺高血圧症	30
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	26	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	31
15	封入体筋炎	1	89	リンパ脈管筋腫症	8
16	クドウ・深瀬症候群	4	90	網膜色素変性症	13
17	多系統萎縮症	8	91	バッド・キアリ症候群	2
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	68	92	特発性門脈圧亢進症	2
19	ライソソーム病	12	93	原発性胆汁性胆管炎	54
21	ミトコンドリア病	8	94	原発性硬化性胆管炎	8
22	もやもや病	16	95	自己免疫性肝炎	10
28	全身性アミロイドーシス	184	96	クローン病	102
30	遠位型ミオパチー	1	97	潰瘍性大腸炎	137
34	神経線維腫症	32	98	好酸球性消化管疾患	4
35	天疱瘡	11	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
36	表皮水疱症	1	104	コストロ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	8	105	チャージ症候群	1
40	高安動脈炎	13	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
41	巨細胞性動脈炎	3	107	全身型若年性特発性関節炎	6
42	結節性多発動脈炎	8	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
43	顕微鏡的多発血管炎	18	111	先天性ミオパチー	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	16	113	筋ジストロフィー	17
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	14	115	遺伝性周期性四肢麻痺	1
46	悪性関節リウマチ	4	116	アトピー性脊髄炎	1
47	パーシャール病	3	117	脊髄空洞症	2
49	全身性エリテマトーデス	242	118	脊髄髄膜瘤	3
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	108	129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1
51	全身性強皮症	73	130	先天性無痛無汗症	3
52	混合性結合組織病	46	131	アレキサンダー病	1
53	シェーグレン症候群	33	141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	2
54	成人スチル病	18	145	ウエスト症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	1	150	環状20番染色体症候群	1
56	ベーチェット病	74	151	ラスムッセン脳炎	1
57	特発性拡張型心筋症	79	154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1
58	肥大型心筋症	22	158	結節性硬化症	10
60	再生不良性貧血	20	160	先天性魚鱗癬	1
61	自己免疫性溶血性貧血	5	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	6
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	163	特発性後天性全身性無汗症	4
63	特発性血小板減少性紫斑病	23	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
64	血栓性血小板減少性紫斑病	2	167	マルファン症候群	40
65	原発性免疫不全症候群	16	168	エーラス・ダンロス症候群	33
66	IgA腎症	31	171	ウィルソン病	3
67	多発性嚢胞腎	34	172	低ホスファターゼ症	1
68	黄色靱帯骨化症	5	179	ウィリアムズ症候群	2
69	後縦靱帯骨化症	49	180	ATR-X症候群	1
70	広範脊柱管狭窄症	11	181	クルーゾン症候群	1
71	特発性大腿骨頭壊死症	49	185	コフィン・シリス症候群	1
72	下垂体性ADH分泌異常症	10	188	多脾症候群	1
73	下垂体性TSH分泌亢進症	1	189	無脾症候群	3



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療に係る基準	・ハイリスク妊娠管理加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・呼吸ケアチーム加算
・特定機能病院入院基本料	・後発医薬品使用体制加算2
・特定機能病院入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算1
・救急医療管理加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・超急性期脳卒中加算	・データ提出加算
・診療録管理体制加算1	・入退院支援加算
・医師事務作業補助体制加算1	・精神疾患診療体制加算
・急性期看護補助体制加算	・精神科急性期医師配置加算
・看護職員夜間配置加算	・排尿自立支援加算
・療養環境加算	・地域医療体制確保加算
・重症者等療養環境特別加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・無菌治療室管理加算1	・救命救急入院料2
・無菌治療室管理加算2	・救命救急入院料3
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・特定集中治療室管理料1
・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・緩和ケア診療加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科リエゾンチーム加算	・小児入院医療管理料4
・摂食障害入院医療管理加算	・看護職員処遇改善評価料
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便過活動膀胱)
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・糖尿病合併症管理料	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))
・がん性疼痛緩和指導管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・がん患者指導管理料イ	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))
・がん患者指導管理料ロ	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・がん患者指導管理料ハ	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・がん患者指導管理料ニ	・網膜再建術
・外来緩和ケア管理料	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・人工中耳植込術
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・糖尿病透析予防指導管理料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・小児運動器疾患指導管理料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・婦人科特定疾患治療管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・腎代替療法指導管理料	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・一般不妊治療管理料	・顎関節人工関節全置換術(歯科)
・生殖補助医療管理料1	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)

・院内トリアージ実施料	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・外来放射線照射診療料	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・外来腫瘍化学療法診療料1	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・連携充実加算	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ニコチン依存症管理料	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・がん治療連携計画策定料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・外来排尿自立指導料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・肝炎インターフェロン治療計画料	・内視鏡下筋層切開術
・こころの連携指導料(Ⅱ)	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・薬剤管理指導料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・地域連携診療計画加算	・胸腔鏡下弁形成術
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・胸腔鏡下弁置換術
・医療機器安全管理料1	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)
・医療機器安全管理料2	・経皮的僧帽弁クリップ術
・医療機器安全管理料(歯科)	・不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・精神科退院時共同指導料1及び2	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・歯科治療時医療管理料	・磁気ナビゲーション加算
・禁煙治療補助システム指導管理加算	・経皮的中隔心筋焼灼術
・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝学的検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・染色体検査の注2に規定する基準</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨髄微小残存病変量測定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・BRCA1/2遺伝子検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・がんゲノムプロファイリング検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助人工心臓</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・先天性代謝異常症検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植込型補助人工心臓(非拍動流型)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経皮的下肢動脈形成術</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・検体検査管理加算(I)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・検体検査管理加算(IV)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内視鏡的逆流防止粘膜切除術</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際標準検査管理加算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝カウンセリング加算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝性腫瘍カウンセリング加算</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))</li> </ul>

・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・胎児心エコー法	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・ヘッドアップティルト試験	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・人工膵臓検査、人工膵臓療法	・体外衝撃波胆石破碎術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下肝切除術
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
・神経学的検査	・生体部分肝移植術
・補聴器適合検査	・同種死体肝移植術
・全視野精密網膜電図	・体外衝撃波膵石破碎術
・ロービジョン検査判断料	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・コンタクトレンズ検査料1	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・小児食物アレルギー負荷検査	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・内服・点滴誘発試験	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・経気管支凍結生検法	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・精密触覚機能検査	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・画像診断管理加算1	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・画像診断管理加算2	・同種死体腎移植術
・画像診断管理加算3	・生体腎移植術
・ポジトロン断層撮影	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・冠動脈CT撮影加算	・人工尿道括約筋植込・置換術
・外傷全身CT加算	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・心臓MRI撮影加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・乳房MRI撮影加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

・小児鎮静下MRI撮影加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・頭部MRI撮影加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・全身MRI撮影加算	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・体外式膜型人工肺管理料
・外来化学療法加算1	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・無菌製剤処理料	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・輸血管理料Ⅰ
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・コーディネート体制充実加算
・がん患者リハビリテーション料	・自己生体組織接着剤作成術
・リンパ浮腫複合的治療料	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
・歯科口腔リハビリテーション料2	・同種クリオプレシピテート作製術
・児童思春期精神科専門管理加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・療養生活環境整備指導加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・療養生活継続支援加算	・歯周組織再生誘導手術
・精神科作業療法	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・医療保護入院等診療料	・麻酔管理料(Ⅱ)
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・周術期薬剤管理加算
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・放射線治療専任加算
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・外来放射線治療加算
・人工腎臓	・高エネルギー放射線治療
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・1回線量増加加算
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・体外照射呼吸性移動対策加算
・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	・定位放射線治療
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算

・歯科技工加算1及び2	・保険医療機関間の連携による病理診断
・センチネルリンパ節加算	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・皮膚移植術(死体)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・デジタル病理画像による病理診断
・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・病理診断管理加算2
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・椎間板内酵素注入療法	・下肢創傷処置管理料
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・多血小板血漿処置
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経発達症の遺伝学的背景の探索	高野 亨子	遺伝子医療研究センター(遺伝医学)	0	補委 日本学術振興会
慢性腎臓病における血清スルファチド異常の臨床的重要性と機序の解明	上條 祐司	血液浄化療法部(内科学第二)	0	補委 日本学術振興会
心臓リハビリテーション介入と運動機能改善および医療費削減効果の関係	山本 周平	リハビリテーション部	0	補委 日本学術振興会
ネオアンチゲンから展開する膵臓癌に対する複合的免疫療法の開発	柳沢 龍	輸血部	0	補委 日本学術振興会
4級アミン局所麻酔薬は末梢痛覚神経だけを選択的に遮断できるか	布施谷 仁志	麻酔科蘇生科	0	補委 日本学術振興会
遺伝性難聴における前庭機能の網羅的研究	塚田 景大	耳鼻咽喉科	0	補委 日本学術振興会
脊柱アライメント不良者の動的バランス評価:一般住民対象スクリーニング法の開発	池上 章太	リハビリテーション部	780,000	補委 日本学術振興会
包括的アプローチによる血管型エーラス・ダンロス症候群の分子遺伝学的発症機序の解明	山口 智美	遺伝子医療研究センター(遺伝医学)	0	補委 日本学術振興会
腹腔鏡手術の痛み:モデルラットによる術中術後痛のメカニズム解明と有効鎮痛法の検討	中村 博之	集中治療部	0	補委 日本学術振興会
思春期特発性側弯症に対する低侵襲矯正固定術のための固定範囲決定手法	大場 悠己	整形外科	0	補委 日本学術振興会
エーラス・ダンロス症候群における脊椎病変の病態解明・治療法の確立	上原 将志	整形外科	0	補委 日本学術振興会
難聴の遺伝子治療に向けたAAVセロタイプ特性に関する研究	吉村 豪兼	耳鼻咽喉科	130,000	補委 日本学術振興会
OTOA遺伝子変異による難聴の臨床像と発症メカニズムに関する研究	北野 友裕	耳鼻咽喉科	0	補委 日本学術振興会
周産期における肝取り込みトランスポーターの活性評価による甲状腺ホルモンの挙動解析	内藤 隆文	薬剤部	1,040,000	補委 日本学術振興会
消化器癌における近赤外光線免疫療法(NIR-PIT)の応用を目指した研究	長屋 匡信	内視鏡センター	1,300,000	補委 日本学術振興会
治療遺伝子搭載ナノ粒子を用いた小児・AYA世代がんに対する革新的治療法の開発	齋藤 章治	小児科	1,170,000	補委 日本学術振興会
長期ニコチン摂取が及ぼす腎・膀胱の組織学的機能的影響と禁煙効果の解析	永井 崇	泌尿器科学	1,040,000	補委 日本学術振興会
唾液バイオマーカーは術後せん妄の新たな予測因子となりうるか	福家 愛(志村愛)	心臓血管外科	338,000	補委 日本学術振興会
抗EGFR抗体薬の血中動態・糖鎖修飾の定量的評価に基づくがん治療効果の個人差解明	柴田 海斗	薬剤部	1,560,000	補委 日本学術振興会
IBD関連腫瘍におけるSATB2発現に関与する分子生物学的メカニズムの探索	岩谷 舞	臨床検査部	1,430,000	補委 日本学術振興会
成人ASDのうつ状態合併のリスク	金子 智喜	放射線科	130,000	補委 日本学術振興会
IgG4関連大動脈周囲炎における動脈瘤形成に関与する臨床的, 画像的因子の研究	高橋 正明	放射線科	390,000	補委 日本学術振興会
慢性心筋梗塞に対する自家IPS細胞を用いた新たな心筋再生療法の開発	市村 創	心臓血管外科	780,000	補委 日本学術振興会
肺癌の経気腔進展(STAS)における転移機序の解明	江口 隆	呼吸器外科	780,000	補委 日本学術振興会
アロプレグナロンおよびオキシトシンは帝王切開術後遷延性術後痛の発症に影響するか	伊藤 真理子	麻酔科蘇生科	0	補委 日本学術振興会
手術侵襲による術中脳波変化と術後痛の関連	田中 竜介	麻酔科蘇生科	0	補委 日本学術振興会
Myostatinによる未分化間葉系細胞の腱細胞への分化誘導メカニズムの解明	北村 陽	整形外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
敗血症患者に対する専従理学療法士配置による早期リハビリテーション効果の検討	酒井 康成	リハビリテーション部	650,000	補委 日本学術振興会
生涯学習としての患者安全:事故事例から自己研鑽をもたらす学習科学的戦略の確立	清水 郁夫	医療安全管理室	2,535,000	補委 日本学術振興会
唾液PRPsの加齢に伴う心腎血管病の新規バイオマーカー・治療標的としての意義	樋口 智子	リハビリテーション部	520,000	補委 日本学術振興会

小計 30

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
薬剤性間質性肺炎のスコアリングシステムによる診断基準の構築とバイオマーカーの同定	牛木 淳人	医療情報部	1,560,000	補委 日本学術振興会
CD8制御性T細胞による臓器移植後免疫寛容をめざした革新的細胞移入療法の開発	野竹 剛	消化器外科	130,000	補委 日本学術振興会
ステントグラフト留置後瘤径拡大の解明-位相差X線CT法による微細構造の検討-	山本 高照	集中治療部	1,183,000	補委 日本学術振興会
チタンファイバーを用いた新規生体材料の脊椎椎体間インプラントへの応用	三村 哲彦	整形外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
Myostatinによる腱損傷後治癒促進効果の実証と新規治療法確立への展開	林 正徳	整形外科	910,000	補委 日本学術振興会
新規骨肉腫治療薬の開発 スクレロスタチンの作用機序・作用点・抗癌剤との併用効果解析	岡本 正則	整形外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
新たに合成した子宮内膜癌に対する抗腫瘍性化合物の作用機序の解明	山田 靖	産科婦人科	520,000	補委 日本学術振興会
肺癌に対する非ウイルス遺伝子改変CAR-T細胞を用いた新規治療法の開発	三浦 健太郎	呼吸器外科	3,120,000	補委 日本学術振興会
大腸癌網羅的mRNA発現解析による高転移性癌予測サイトカインマーカーの探索	中嶋 智之	臨床検査部	1,040,000	補委 日本学術振興会
ヒトiPS細胞由来心筋細胞の新規移植方法の開発	小林 秀樹	循環器内科	1,690,000	補委 日本学術振興会
肺気腫合併肺高血圧ラットモデルを用いた低酸素誘導性血管新生蛋白の定量解析	和田 洋典	呼吸器・感染症・アレルギー内科	910,000	補委 日本学術振興会
胸腺腫および関連自己免疫疾患におけるT細胞の網羅的遺伝子解析による免疫異常の解明	川上 徹	血液内科	910,000	補委 日本学術振興会
筋肉内粘液腫における最適なGNAS遺伝子スクリーニング法の開発	鬼頭 宗久	整形外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
分葉状頸管腺過形成から子宮頸部胃型粘液性癌発癌過程の解明	井田 耕一	産科婦人科	1,560,000	補委 日本学術振興会
固形がん患者の歯周状態とがん免疫監視機構との関連性に関する検討	酒井 洋徳	特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
脳腫瘍の組織・解剖学的所見、及びDNA量を相関解析するための新統合システムの確立	藤井 雄	脳神経外科	520,000	補委 日本学術振興会
FFRにて血行再建を見送った冠動脈病変におけるNIRSを用いたリスク層別化と予後	植木 康志	循環器内科	1,560,000	補委 日本学術振興会
脳腫瘍患者に対する作業療法介入のパイロットランダム化比較試験	伊藤 駿	リハビリテーション部	585,000	補委 日本学術振興会
喘息・COPD患者の包括的な治療応答性評価に基づくプレジジョンメディスンの構築	平井 啓太	薬剤部	1,430,000	補委 日本学術振興会
重症度の異なるゲノム編集マウスを用いた筋ジストロフィー重症化機序に関する研究	宮崎 大吾	信州診療連携センター(内科学第三)	1,105,000	補委 日本学術振興会
アレルギー性輸血副反応発症機序の全貌解明を目指した患者因子ならびに製剤因子の解析	柳沢 龍	輸血部	1,300,000	補委 日本学術振興会
知的発達症におけるヒストンリジンメチル化の役割の解明	高野 亨子	遺伝子医療研究センター(遺伝医学)	1,690,000	補委 日本学術振興会
Autophagy-脂肪酸代謝クロストーク変調が腎障害に及ぼす影響についての解析	上條 祐司	血液浄化療法部(内科学第二)	910,000	補委 日本学術振興会
膵島移植における新規β細胞増殖培養技術の開発	三田 篤義	集中治療部	910,000	補委 日本学術振興会
免疫チェックポイント阻害薬誘発自己免疫性腸炎におけるIRF-2分子機能の解明	得丸 重夫	消化器外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
気圧変化に着目した癒着性腸閉塞発症メカニズムの解明	山本 悠太	消化器外科	2,275,000	補委 日本学術振興会
免疫細胞を標的とした新たな遷延性術後痛メカニズムの解明と治療戦略	石田 公美子(松尾公美子)	手術部(麻酔科蘇生科)	1,430,000	補委 日本学術振興会
交感神経系による免疫系制御～敗血症時の免疫異常を骨の髄から治療する～	杉山 由紀	手術部(麻酔蘇生科)	455,000	補委 日本学術振興会
無痛症のメカニズムの解明:生体内におけるNaV1.7変異が与える影響	中村 博之	集中治療部	390,000	補委 日本学術振興会
新規画像処理ソフトを用いた人工知能による「くも膜下出血発症予測システム」の開発	小山 淳一	脳血管内治療センター	1,560,000	補委 日本学術振興会
ハイスピードビデオカメラを用いた流体力学的排尿機能解析法の開発	皆川 倫範	泌尿器科	1,040,000	補委 日本学術振興会
AI機能搭載クラウド型患者情報共有システムの開発と難病医療支援体制構築への応用	日根野 晃代	信州診療連携センター(内科学第三)	715,000	補委 日本学術振興会
高齢心疾患患者の入院から退院後1年間のフレイル変化の実態と予後に関する研究	山本 周平	リハビリテーション部	1,170,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
子宮頸部腺癌の個別化医療に向けた、細胞系列分類に基づく発癌機構と微小環境の解明	浅香 志穂	臨床検査部	1,430,000	補委 日本学術振興会
KRAS変異G12C、G12D選択阻害剤の耐性メカニズムの解明	北沢 将人	消化器外科	2,080,000	補委 日本学術振興会
アンジオテンシンII受容体/ $\beta$ アレスチン経路の腎形成における未知の制御機構の解明	松岡 大輔	小児科	1,950,000	補委 日本学術振興会
心血管イメージングを用いたコルヒチンの冠動脈プラークに対する抗炎症作用の評価	植木 康志	循環器内科	520,000	補委 日本学術振興会
重症虚血肢に対する脂肪幹細胞移植と血管内治療における表面マーカーの検討	加藤 太門	循環器内科	1,430,000	補委 日本学術振興会
心臓交感神経求心路を標的とした心不全進展抑制におけるTRPV1の意義の解明	吉江 幸司	循環器内科	2,340,000	補委 日本学術振興会
狭窄性腱鞘炎における加齢と閉経が及ぼす複合的な影響の解明	岩川 紘子	整形外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
骨肉腫に対するスクレロスタチンの抗腫瘍効果機序の解明	出田 宏和	整形外科	2,340,000	補委 日本学術振興会
新規画像処理ソフトを用いた人工知能による革新的「脳梗塞発症予測システム」の開発	花岡 吉亀	脳神経外科	2,210,000	補委 日本学術振興会
機械学習によるテーラーメイド型院内急変予測モデルの開発	上條 泰	救急科	2,340,000	補委 日本学術振興会
がんに対するpiggyBac遺伝子導入新規キメラ抗原受容体(CAR)-T細胞療法開発に関する国際共同研究(AMED)	齋藤章治	小児科	5,239,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
CD116陽性急性骨髄性白血病および若年性骨髄単球性白血病を対象とする非ウイルス遺伝子改変GMR CAR-T細胞のFIH医師主導治験(AMED)	中沢洋三	小児科	71,329,830	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
早期爪部メラノーマに対するソフトウェア単体診断補助プログラムの有効性を検証する臨床性能試験(AMED)	皆川茜	皮膚科	24,440,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
HER2陽性の再発・進行骨・軟部肉腫及び婦人科悪性腫瘍を対象とする非ウイルス遺伝子改変HER2 CAR-T細胞の臨床第I相医師主導治験(AMED)	中沢洋三	小児科	79,131,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
イメージングデータを用いた皮膚がん診断ソリューション開発(AMED)	奥山隆平	皮膚科	89,404,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
IL-12発現型がん理療用ウイルスを用いた悪性黒色腫に対する革新的ウイルス免疫療法開発(AMED橋渡し研究プログラム)	奥山隆平	皮膚科	104,000,000	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)

合計 79

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Mimura T, Yoshimura Y, Sano K, et al.	整形外科	Leiomyosarcoma of the femur arising from an aneurysmal bone cyst treated seven years before: A case report and literature review	J Orthop Sci. 2022 Nov;27(6):1359-1362. doi: 10.1016/j.jos.2020.03.003 . Epub 2020 Mar 28.	Review
2	Muraki T, Pehlivanoglu B, Memis B, et al.	消化器内科	Pancreatobiliary Maljunction- associated Gallbladder Cancer Is as Common in the West, Shows Distinct Clinicopathologic Characteristics and Offers an Invaluable Model for Anatomy- induced Reflux- associated Physio- chemical Carcinogenesis	Ann Surg. 2022 Jul 1;276(1):e32-e39. doi: 10.1097/SLA.0000000000 004482. Epub 2020 Nov 12.	Original Article
3	Nishioka H, Hishikawa M, Nagai F, et al.	形成再建外科	Morphological Changes in Faces Depending on Posture	Facial Plast Surg. 2022 Apr;38(2):193-200. doi: 10.1055/s-0041-1729910. Epub 2021 Jun 1.	Original Article
4	Tobe Y, Uehara T, Nakajima T, et al.	臨床検査部	LGR5-Expressing Cells in the Healing Process of Post-ESD Ulcers in Gastric Corpus	Dig Dis Sci. 2022 Jun;67(6):2134-2142. doi: 10.1007/s10620-021- 07059-2. Epub 2021 Jun 3.	Original Article

5	Kamijo K, Miyamoto T, Ando H, et al.	産科婦人科	Clinical characteristics of a novel "Type 3" vasa previa: case series at a single center	J Matern Fetal Neonatal Med. 2022 Dec;35(25):7730-7736. doi: 10.1080/14767058.2021.1 960975. Epub 2021 Aug 9.	Original Article
6	Yamazaki S, Koike S, Eguchi T, et al.	呼吸器外科	Preemptive Intercostal Nerve Block as an Alternative to Epidural Analgesia	Ann Thorac Surg. 2022 Jul;114(1):257-264. doi: 10.1016/j.athoracsur.2021 .07.019. Epub 2021 Aug 10.	Original Article
7	Nishio SY, Usami SI.	人工聴覚器学講座	Prevalence and clinical features of autosomal dominant and recessive TMC1- associated hearing loss	Hum Genet. 2022 Apr;141(3-4):929-937. doi: 10.1007/s00439-021- 02364-2. Epub 2021 Sep 14.	Original Article
8	Harada M, Yamaguchi A, Sonoda K, et al.	腎臓内科	Comparison of the factors associated with the short-term prognosis between elderly and non- elderly patients with anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: a retrospective observational study	Clin Exp Rheumatol. 2022 May;40(4):705-713. doi: 10.55563/clinexprheumato l/3qb95d. Epub 2021 Sep 9.	Original Article
9	Fujii Y, Ogiwara T, Watanabe G, et al.	脳神経外科	Intraoperative Low- Field Magnetic Resonance Imaging- Guided Tumor Resection in Glioma Surgery: Pros and Cons	J Nippon Med Sch. 2022 Jun 28;89(3):269-276. doi: 10.1272/jnms.JNMS.2022_ 89-301. Epub 2021 Sep 14.	Original Article

10	Iwasa YI, Nishio SY, Yoshimura H, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Detailed clinical features and genotype-phenotype correlation in an OTOF-related hearing loss cohort in Japan	Hum Genet. 2022 Apr;141(3-4):865-875. doi: 10.1007/s00439-021-02351-7. Epub 2021 Sep 18.	Original Article
11	Tanikawa Y, Oba H, Fujii M, et al.	整形外科	Intraoperative Cone Beam CT in Hybrid Operation Room for Pediatric Scoliosis Patients: Comparison of Pedicle Screw Violation Rate at Normal and Low Radiation Doses	Spine (Phila Pa 1976). 2022 Jun 15;47(12):E507-E513. doi: 10.1097/BRS.0000000000004226. Epub 2021 Sep 20.	Original Article
12	Wakabayashi R.	麻酔科蘇生科	A Call for Real-Time Bispectral Index and Electroencephalogram Monitoring in a Patient Undergoing Aortic Surgery	J Cardiothorac Vasc Anesth. 2022 Aug;36(8 Pt A):2558-2562. doi: 10.1053/j.jvca.2021.08.037. Epub 2021 Aug 27.	Case Reports
13	Usami SI, Nishio SY.	人工聴覚器学講座	The genetic etiology of hearing loss in Japan revealed by the social health insurance-based genetic testing of 10K patients	Hum Genet. 2022 Apr;141(3-4):665-681. doi: 10.1007/s00439-021-02371-3. Epub 2021 Oct 1.	Review

14	Oyake K, Murayama J, Tateishi T, et al.	保健学科	Comparison of the sit-up test and head-up tilt test for assessing blood pressure and hemodynamic responses in healthy young individuals	Blood Press Monit. 2022 Apr 1;27(2):79-86. doi: 10.1097/MBP.0000000000000570.	Original Article
15	Koyama M, Miyagawa Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Laparoscopic left-sided mesocolic leaf flap repair for pelvic reconstruction after sacral tissue necrosis. A case report	Asian J Endosc Surg. 2022 Apr;15(2):363-367. doi: 10.1111/ases.13000. Epub 2021 Oct 20.	Case Reports
16	Takahashi Y, Mochizuki Y, Nakamura K, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Moyamoya Disease-like Cerebrovascular Stenotic Lesions Are an Important Phenotype of POEMS Syndrome-associated Vasculopathy	Intern Med. 2022 May 15;61(10):1603-1608. doi: 10.2169/internalmedicine.7701-21. Epub 2021 Nov 6.	Case Reports
17	Hayashi M, Kato H, Komatsu M, et al.	整形外科	Changes in the Functional Range of Motion of the Thumb Metacarpophalangeal Joint After Trapeziometacarpal Arthrodesis for Patients With Advanced Trapeziometacarpal Osteoarthritis	J Hand Surg Am. 2023 Jan;48(1):83.e1-83.e8. doi: 10.1016/j.jhsa.2021.09.018. Epub 2021 Nov 9.	Original Article
18	Shimizu K.	呼吸器外科	Can Salvage Surgery Cause a Paradigm Shift in Lung Cancer Treatment?	Ann Thorac Surg. 2022 Oct;114(4):1518-1519. doi: 10.1016/j.athoracsur.2021.10.015. Epub 2021 Nov 13.	Letter

19	Tsunekawa K, Kato T, Ebisawa S, et al.	形成再建外科	Which plantar region can predict peripheral arterial disease by using laser speckleflowgraphy?	Heart Vessels. 2022 May;37(5):738-744. doi: 10.1007/s00380-021-01985-x. Epub 2021 Nov 22.	Original Article
20	Nozawa S, Urushihata K, Machida R, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Sleep architecture of short sleep time in patients with obstructive sleep apnea: a retrospective single-facility study	Sleep Breath. 2022 Dec;26(4):1633-1640. doi: 10.1007/s11325-021-02533-7. Epub 2021 Nov 22.	Original Article
21	Kinoshita A, Shimosato S.	保健学科	Effectiveness of an Aggression Management Training Program in Japan: A Quasi-Experimental Study	Issues Ment Health Nurs. 2022 Jun;43(6):543-551. doi: 10.1080/01612840.2021.1999542. Epub 2021 Nov 22.	Original Article
22	Minatogawa M, Unzaki A, Morisaki H, et al.	遺伝子医療研究センター	Clinical and molecular features of 66 patients with musculocontractural Ehlers-Danlos syndrome caused by pathogenic variants in CHST14 (mcEDS-CHST14)	J Med Genet. 2022 Sep;59(9):865-877. doi: 10.1136/jmedgenet-2020-107623. Epub 2021 Nov 23.	Original Article
23	Nakamura K, Ashida A, Kiniwa Y, et al.	皮膚科	Chemokine level predicts the therapeutic effect of anti-PD-1 antibody (nivolumab) therapy for malignant melanoma	Arch Dermatol Res. 2022 Nov;314(9):887-895. doi: 10.1007/s00403-021-02305-z. Epub 2021 Nov 29.	Original Article

24	Koike S, Eguchi T, Matsuoka S, et al.	呼吸器外科	Impact of counterclockwise rotation of the right middle lobe following right upper lobectomy	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2022 Jun 1;34(6):1062-1070. doi: 10.1093/icvts/ivab356.	Original Article
25	Ito K, Nakamura T, Hanaoka Y, et al.	脳神経外科	Evaluation of the nutrient foramen as a suitable landmark in spinal surgery	Spine J. 2022 May;22(5):732-737. doi: 10.1016/j.spinee.2021.12. 009. Epub 2021 Dec 27.	Original Article
26	Tanaka A, Okamoto M, Kito M, et al.	整形外科	Influence of the adductor compartment resection on muscle strength and postoperative function in soft- tissue sarcoma of the thigh	Jpn J Clin Oncol. 2022 Apr 6;52(4):370-374. doi: 10.1093/jjco/hyab207.	Original Article
27	Nozawa S, Urushihata K, Yasuo M, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Characteristics of airway resistance in obstructive sleep apnea patients with asthma on oscillometry	Respir Med Res. 2022 May;81:100878. doi: 10.1016/j.resmer.2021.10 0878. Epub 2021 Dec 11.	Original Article
28	Kitamura S, Ito K, Horiuchi T., et al.	脳神経外科	Dural sac restenosis due to regeneration of the resected C1 lamina in a patient with Chiari malformation: a case report and literature review	Childs Nerv Syst. 2022 Aug;38(8):1621-1624. doi: 10.1007/s00381-021- 05442-y. Epub 2022 Jan 6.	Case Reports

29	Nakamura C, Ebisawa S, Miura T, et al.	循環器内科	Effects of cardiac surgical support on long-term outcomes of emergent or complex percutaneous coronary intervention cases: a sub-analysis of the SHINANO 5-year registry	Heart Vessels. 2022 Jul;37(7):1106-1114. doi: 10.1007/s00380-021-02015-6. Epub 2022 Jan 7.	Original Article
30	Hatakenaka T, Oba H, Ikegami S, et al.	整形外科	Comparison of differences and random errors in pedicle diameter measurements between MRI and CT: observational study of 315 pedicles in Lenke type 1 adolescent idiopathic scoliosis patients	Spine J. 2022 Jun;22(6):1002-1011. doi: 10.1016/j.spinee.2022.01.006. Epub 2022 Jan 10.	Original Article
31	Usami SI, Isaka Y, Miyagawa M, et al.	人工聴覚器学講座	Variants in CDH23 cause a broad spectrum of hearing loss: from non-syndromic to syndromic hearing loss as well as from congenital to age-related hearing loss	Hum Genet. 2022 Apr;141(3-4):903-914. doi: 10.1007/s00439-022-02431-2. Epub 2022 Jan 12.	Original Article
32	Ogiwara T, Fujii Y, Hanaoka Y, et al.	脳神経外科	Intraoperative Image-Guided Surgery for Gliomas in the Smart Cyber Operating Theater (SCOT): A Preliminary Clinical Application	World Neurosurg. 2022 Apr;160:e314-e321. doi: 10.1016/j.wneu.2022.01.012. Epub 2022 Jan 10.	Original Article

33	Fujimori N, Kimura T, Tanaka N, et al.	内科学第二	2-Step PLT16-AST44 method: Simplified liver fibrosis detection system in patients with non-alcoholic fatty liver disease	Hepatol Res. 2022 Apr;52(4):352-363. doi: 10.1111/hepr.13745. Epub 2022 Feb 2.	Original Article
34	Iwasa YI, Yokota Y, Kitoh R, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Factors Affecting Nivolumab Therapy Outcome in Patients with Head and Neck Cancer: A Single-Center Analysis	Oncology. 2022;100(4):203-211. doi: 10.1159/000522035. Epub 2022 Jan 18.	Original Article
35	Natsume T, Inaba Y, Osawa Y, et al.	小児科	High Incidence of Hippocampal Abnormalities in Pediatric Patients with Congenital Cytomegalovirus Infection	Neuropediatrics. 2022 Aug;53(4):239-245. doi: 10.1055/a-1754-1142. Epub 2022 Jan 28.	Original Article
36	Sonoda K, Harada M, Aomura D, et al.	腎臓内科	Relationship between glomerular number in fresh kidney biopsy samples and light microscopy samples	Clin Exp Nephrol. 2022 May;26(5):424-434. doi: 10.1007/s10157-022-02179-z. Epub 2022 Feb 1.	Original Article
37	Komatsu M, Yamamoto H, Ichiyama T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Tolerability of nintedanib in the elderly with idiopathic pulmonary fibrosis: A single-center retrospective study	PLoS One. 2022 Feb 3;17(2):e0262795. doi: 10.1371/journal.pone.0262795. eCollection 2022.	Original Article

38	Koyama S, Tensho K, Shimodaira H, et al.	整形外科	A new remnant preservation technique reduces bone tunnel enlargement after anatomic double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2022 Jun;30(6):2020-2028. doi: 10.1007/s00167-022-06882-y. Epub 2022 Feb 5.	Original Article
39	Takeda T, Matsuoka S, Miura K, et al.	呼吸器外科	Prediction of Pulmonary Artery-Adherent Lymph Nodes for Minimally Invasive Lung Resection	Ann Thorac Surg. 2022 Sep;114(3):969-977. doi: 10.1016/j.athoracsur.2022.01.019. Epub 2022 Feb 3.	Original Article
40	Komatsu M, Yasuo M, Wada Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Obstructive Pneumonia Associated with Endobronchial Aspergilloma: Successful Treatment with Interventional Bronchoscopy and Antifungals	Intern Med. 2022 Sep 1;61(17):2643-2647. doi: 10.2169/internalmedicine.8202-21. Epub 2022 Feb 8.	Case Reports
41	Yamamoto H, Komatsu M, Sonehara K, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Usual Interstitial Pneumonia Pattern Interstitial Lung Disease Developed in a Patient with IgG4-related Chronic Sclerosing Sialadenitis	Intern Med. 2022 Sep 1;61(17):2637-2642. doi: 10.2169/internalmedicine.8937-21. Epub 2022 Feb 8.	Case Reports

42	Sonehara K, Tateishi K, Araki T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Predictive Factors Correlated with the Development of Immune-Related Adverse Events in Patients with Non-Small Cell Lung Cancer Treated with Immune Checkpoint Inhibitors	Cancer Manag Res. 2022 Feb 2;14:427-435. doi: 10.2147/CMAR.S347852. eCollection 2022.	Original Article
43	Umemura T, Fujinaga Y, Ashihara N, et al.	内科学第二	IL1R1 gene variants associate with disease susceptibility to IgG4-related periaortitis/periarteritis in IgG4-related disease	Gene. 2022 Apr 30;820:146212. doi: 10.1016/j.gene.2022.146212. Epub 2022 Feb 7.	Original Article
44	Matsuoka S, Koizumi T, Otsuki K, et al.	呼吸器外科	Epidemiological analysis of lung and mediastinal neuroendocrine neoplasms in Japan based on the national database	Cancer Epidemiol. 2022 Apr;77:102116. doi: 10.1016/j.canep.2022.102116. Epub 2022 Feb 7.	Original Article
45	Araki T, Tateishi K, Komatsu M, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Association of lung immune prognostic index with survival outcome in advanced thymic carcinoma patients treated with palliative intent chemotherapy	Thorac Cancer. 2022 Apr;13(7):1006-1013. doi: 10.1111/1759-7714.14349. Epub 2022 Feb 13.	Original Article
46	Okano T, Okada A, Shoda M, et al.	循環器内科	Gigantic Pacemaker Pocket Abscess Infected by Staphylococcus epidermidis	Intern Med. 2022;61(4):593-594. doi: 10.2169/internalmedicine.8035-21. Epub 2022 Feb 15.	Original Article

47	Yamamoto S, Yamasaki S, Higuchi S, et al.	リハビリテーション部	Prevalence and prognostic impact of cognitive frailty in elderly patients with heart failure: sub- analysis of FRAGILE-HF	ESC Heart Fail. 2022 Jun;9(3):1574–1583. doi: 10.1002/ehf2.13844. Epub 2022 Feb 19.	Original Article
48	Oba H, Takahashi J, Shibata Y, et al.	整形外科	Frequency of Change in Assessment from Bony Union to Nonunion after Lumbar Interbody Fusion: A Multicenter Study	Spine Surg Relat Res. 2021 Jun 30;6(1):63–70. doi: 10.22603/ssrr.2020- 0032. eCollection 2022.	Original Article
49	Koizumi T, Kobayashi T, Kanda S, et al.	血液・腫瘍内科学	Syndrome of Inappropriate Antidiuretic Hormone Secretion as the Initial Presentation in a Patient with Stage I Small-cell Lung Cancer	Intern Med. 2022;61(5):709–713. doi: 10.2169/internalmedicine. 8223–21. Epub 2022 Mar 1.	Case Reports
50	Matsuoka D, Hirabayashi K, Murase T, et al.	小児科	Comment on: Assessment of kidney function using inulin- based and estimated glomerular filtration rates before and after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in pediatric patients	Pediatr Blood Cancer. 2022 Sep;69(9):e29634. doi: 10.1002/pbc.29634. Epub 2022 Mar 2.	Letter

51	Hirano T, Takahashi Y, Hoshiyama K, et al.	眼科	Optical coherence tomography angiography findings before and after onset of foveal retinal neovascularization in diabetic retinopathy	Am J Ophthalmol Case Rep. 2022 Feb 16;26:101435. doi: 10.1016/j.ajoc.2022.101435. eCollection 2022 Jun.	Case Reports
52	Kawakami F, Kawakami T, Yamane T, et al.	血液内科	T cell clonal expansion and STAT3 mutations: a characteristic feature of acquired chronic T cell-mediated pure red cell aplasia	Int J Hematol. 2022 Jun;115(6):816-825. doi: 10.1007/s12185-022-03310-2. Epub 2022 Mar 11.	Original Article
53	Ueki Y, Kuramitsu S, Saigusa T, et al.	循環器内科	Long-Term Outcomes in Elderly Patients After Deferral of Coronary Revascularization Guided by Fractional Flow Reserve	Circ J. 2022 Aug 25;86(9):1329-1336. doi: 10.1253/circj.CJ-21-1024. Epub 2022 Mar 12.	Original Article
54	Ohashi N, Katoh N, Kasuga K, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	AH amyloid neuropathy: a novel clinical phenotype confirmed by histopathology and mass spectrometry	Amyloid. 2022 Jun;29(2):141-142. doi: 10.1080/13506129.2022.2049745. Epub 2022 Mar 14.	Letter
55	Yoshizawa T, Uehara T, Iwaya M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Correlation of LGR5 expression and clinicopathological features in intrahepatic cholangiocarcinoma	Pathol Res Pract. 2022 Apr;232:153832. doi: 10.1016/j.prp.2022.153832. Epub 2022 Mar 3.	Original Article

56	Yanagisawa R, Ishimine N, Komori K, et al.	輸血部	Relationship between allergic transfusion reactions and allergic predisposition among pediatric patients with hematological/oncological disease	Transfusion. 2022 May;62(5):1035-1044. doi: 10.1111/trf.16855. Epub 2022 Mar 16.	Original Article
57	Kitagawa T, Ozaki N, Aoki Y., et al.	保健学科	Effect of physical therapy on the flexibility of the infrapatellar fat pad: A single-blind randomised controlled trial	PLoS One. 2022 Mar 17;17(3):e0265333. doi: 10.1371/journal.pone.0265333. eCollection 2022.	Original Article
58	Okamura T, Iwaya Y, Nagaya T, et al.	消化器内科	Gastric adenocarcinoma arising from hamartomatous inverted polyp during 8-year follow-up	DEN Open. 2021 Aug 22;2(1):e16. doi: 10.1002/deo2.16. eCollection 2022 Apr.	Case Reports
59	Kitazawa T, Yuzuriha S.	形成再建外科	Impact of Single Eyelid on Superior Visual Field	Ann Plast Surg. 2022 Apr 1;88(4):375-380. doi: 10.1097/SAP.0000000000003201.	Original Article
60	Kakihara S, Hirano T, Wakabayashi M, et al.	眼科	Widefield Optical Coherence Tomography Angiography for Pregnancy-Associated Central Serous Chorioretinopathy	Asia Pac J Ophthalmol (Phila). 2022 May 1;11(3):294. doi: 10.1097/APO.0000000000000437.	Original Article
61	Takahashi Y, Ohashi N, Takasone K, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	CSF/plasma levels, transthyretin stabilisation and safety of multiple doses of tolcapone in subjects with hereditary ATTR amyloidosis	Amyloid. 2022 Sep;29(3):190-196. doi: 10.1080/13506129.2022.2056011. Epub 2022 Mar 30.	Original Article

62	Sakai Y, Yamamoto S, Karasawa T, et al.	リハビリテーション部	Effects of early rehabilitation in sepsis patients by a specialized physical therapist in an emergency center on the return to activities of daily living independence: A retrospective cohort study	PLoS One. 2022 Mar 31;17(3):e0266348. doi: 10.1371/journal.pone.0266348. eCollection 2022.	Original Article
63	Ishida K, Tanaka S, Shen D, et al.	麻酔科蘇生科	Calcitonin gene-related peptide is not involved in neuropathic pain induced by partial sciatic nerve ligation in mice	Neurosci Lett. 2022 May 1;778:136615. doi: 10.1016/j.neulet.2022.136615. Epub 2022 Apr 1.	Original Article
64	Miyagawa Y, Yamamoto Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Association of Serum Creatinine Level with Prognosis of Laparotomy for Acute Mesenteric Ischemia after Cardiovascular Surgery	Surg Res Pract. 2022 Mar 28;2022:1737161. doi: 10.1155/2022/1737161. eCollection 2022.	Original Article
65	Iesato Y, Hirano T, Yoshida N., et al.	眼科	Early Recovery from Vasculitis after Brolicizumab with Prompt Steroid Treatment	Ophthalmol Retina. 2022 Apr;6(4):325. doi: 10.1016/j.oret.2021.08.010.	Original Article
66	Katsuie S, Kiniwa Y, Mikoshiba A, et al.	皮膚科	A Case of Apocrine Carcinoma Arising in a Sebaceous Naevus: Detection of HRAS G13R Mutation	Acta Derm Venereol. 2022 Apr 13;102:adv00697. doi: 10.2340/actadv.v102.2034.	Case Reports

67	Nakai A, Uehara M, Miyaoka Y, et al.	整形外科	A case of adult-onset Grisel's syndrome	Br J Neurosurg. 2022 Apr 8:1-3. doi: 10.1080/02688697.2022.2 061420. Online ahead of	Original Article
68	Kato T, Miura T, Yamamoto S, et al.	循環器内科	Intensive exercise therapy for restenosis after superficial femoral artery stenting: the REASON randomized clinical trial	Heart Vessels. 2022 Sep;37(9):1596-1603. doi: 10.1007/s00380-022- 02060-9. Epub 2022 Apr 9.	Original Article
69	Araki T, Uehara N, Kamijo H, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Successful Rescue of Life-threatening Hemoptysis Caused by Pulmonary Tuberculosis Bridging with Extracorporeal Membrane Oxygenation	Intern Med. 2022 Dec 1;61(23):3611-3615. doi: 10.2169/internalmedicine. 8558-21. Epub 2022 Apr 9.	Case Reports
70	Hayashida M, Kinjo T, Wada Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Hierarchical cluster analysis based on disease-associated manifestations of patients with lymphangioleiomyoma tosis: An analysis of the national database of designated intractable diseases of Japan	Respir Investig. 2022 Jul;60(4):570-577. doi: 10.1016/j.resinv.2022.03. 003. Epub 2022 Apr 12.	Original Article
71	Tanaka H, Kurita H, Shibuya Y, et al.	特殊歯科・口腔外科	COVID-19 transmission in dental and oral/maxillofacial surgical practice during pandemic: questionnaire survey in 51 university hospitals in Japan	J Hosp Infect. 2022 Jul;125:21-27. doi: 10.1016/j.jhin.2022.04.00 2. Epub 2022 Apr 13.	Original Article

72	Kanai T, Ito T, Morikawa H, et al.	乳腺・内分泌外科	Surgical resection of the primary tumor prevents an undesirable locoregional condition and improves the quality of life in patients with anaplastic thyroid cancer	Surg Today. 2022 Nov;52(11):1620-1626. doi: 10.1007/s00595-022-02494-8. Epub 2022 Apr 17.	Original Article
73	Uchida E, Saito S, Morita D, et al.	小児科	Skin and soft tissue infections in adolescent chronic myeloid leukemia under dasatinib treatment	Pediatr Blood Cancer. 2022 Aug;69(8):e29714. doi: 10.1002/pbc.29714. Epub 2022 Apr 20.	Original Article
74	Koizumi T, Otsuki K, Tanaka Y, et al.	血液・腫瘍内科学	Epidemiology of neuroendocrine neoplasmas in Japan: based on analysis of hospital-based cancer registry data, 2009 - 2015	BMC Endocr Disord. 2022 Apr 20;22(1):105. doi: 10.1186/s12902-022-01016-4.	Original Article
75	Yamamoto Y, Kitazawa M, Otsubo T, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Comparison of Clinical Outcomes and Safety Between Open and Laparoscopic Surgery for Adhesive Small Bowel Obstruction: A Propensity-Matched Analysis of a National Inpatient Database	J Laparoendosc Adv Surg Tech A. 2022 Oct;32(10):1064-1070. doi: 10.1089/lap.2022.0050. Epub 2022 Apr 19.	Original Article
76	Kishida D, Ichikawa T, Takamatsu R, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Clinical characteristics and treatment of elderly onset adult-onset Still's disease	Sci Rep. 2022 Apr 26;12(1):6787. doi: 10.1038/s41598-022-10932-3.	Original Article

77	Oba H, Oda I, Takahashi J, et al.	整形外科	Occipitoatlantal Anteroposterior Subluxation Associated with Condylar Hypoplasia and Congenital Atlantoaxial Fusion: Clinical Correspondence	Spine Surg Relat Res. 2021 Jun 30;6(2):185-188. doi: 10.22603/ssrr.2021-0052. eCollection 2022.	Original Article
78	Nishio SY, Moteki H, Miyagawa M, et al.	人工聴覚器学講座	Etiology of hearing loss affects auditory skill development and vocabulary development in pediatric cochlear implantation cases	Acta Otolaryngol. 2022 Mar-Apr;142(3-4):308-315. doi: 10.1080/00016489.2022.2065027. Epub 2022 Apr 28.	Original Article
79	Meling MT, Ogawa E, Sato Y, et al.	皮膚科	Prevalence of Psoriatic Arthritis in Nagano Prefecture, Japan, and Efficacy of the Psoriasis Epidemiology Screening Tool: A Real-World Survey	Tohoku J Exp Med. 2022 Jun 25;257(3):205-210. doi: 10.1620/tjem.2022.J035. Epub 2022 Apr 28.	Original Article
80	Ichiyama T, Komatsu M, Wada Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Report of a combination of remdesivir, intravenous methylprednisolone pulse, and tocilizumab for severe coronavirus disease: 20-case series at a single institution	Respir Investig. 2022 Jul;60(4):604-606. doi: 10.1016/j.resinv.2022.04.001. Epub 2022 Apr 25.	Original Article
81	Hayashi H, Shimizu A, Motoyama H, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Safety and oncological benefits of hepatectomy for hepatocellular carcinoma in octogenarians	Asian J Surg. 2023 Jan;46(1):366-372. doi: 10.1016/j.asjsur.2022.04.074. Epub 2022 Apr 30.	Original Article

82	Takasawa T, Minagawa T, Domen T, et al.	泌尿器科	Successful management of testicular primitive neuroectodermal tumor with multiple bone metastases	IJU Case Rep. 2022 Mar 26;5(3):179–182. doi: 10.1002/iju5.12431. eCollection 2022 May.	Case Reports
83	Horiuchi S, Kanaya K, Horiuchi T., et al.	脳神経外科	The Occurrence and Relationship of Postoperative Seizure and de novo Epilepsy after Craniotomy Surgery: A Retrospective Single- Center Cohort Study	Front Surg. 2022 Apr 19;9:881874. doi: 10.3389/fsurg.2022.88187 4. eCollection 2022.	Original Article
84	Nakazawa H, Sakai K, Ohta A, et al.	血液内科	Incidence of acquired pure red cell aplasia: a nationwide epidemiologic analysis with 2 registry databases in Japan	Blood Adv. 2022 Dec 27;6(24):6282–6290. doi: 10.1182/bloodadvances.2 021006486.	Original Article
85	Murata C, Matsuoka D, Murase T, et al.	小児科	Proteinuria from first-morning urine in a child due to brace treatment for adolescent idiopathic scoliosis	CEN Case Rep. 2022 Nov;11(4):490–493. doi: 10.1007/s13730-022- 00708-z. Epub 2022 May 9.	Case Reports
86	Murata T, Kondo M, Inoue M, et al.	眼科	Estimating ranibizumab injection numbers and visual acuity at 12 months based on 2-month data on branch retinal vein occlusion treatment	Sci Rep. 2022 May 10;12(1):7661. doi: 10.1038/s41598-022- 11113-y.	Original Article

87	Osawa K, Kiniwa Y, Shimosato Y, et al.	皮膚科	Toxic Epidermal Necrolysis Caused by Apalutamide: A Case Report of Treatment Using Etanercept with Conventional Steroid Therapy	Acta Derm Venereol. 2022 May 24;102:adv00723. doi: 10.2340/actadv.v102.224 3.	Case Reports
88	Yamamoto Y, Kitazawa M, Miyagawa Y, et al.	消化器外科	Association of Daily Variance in Air Temperature With Postoperative Adhesive Small Bowel Obstruction	Cureus. 2022 Apr 16;14(4):e24176. doi: 10.7759/cureus.24176. eCollection 2022 Apr.	Original Article
89	Sato M, Sekijima Y.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	[Cryptococcal Meningitis with Inadequate Response to Antifungal Therapy or Drug-Induced Side Effects That Make It Difficult to Continue Treatment: Management to Avoid Treatment Difficulties and Intracerebroventricular Antifungal Administration for Refractory Cases]	Brain Nerve. 2022 May;74(5):600-607. doi: 10.11477/mf.1416202086.	Original Article
90	Nishimura H, Ikegami S, Uehara M, et al.	リハビリテーション部	Detection of cognitive decline by spinal posture assessment in health exams of the general older population	Sci Rep. 2022 May 19;12(1):8460. doi: 10.1038/s41598-022- 12605-7.	Original Article

91	Oyanagi K, Shimizu H, Yamada M, et al.	神経難病学	The neostriatum in polyglutamine diseases: preferential decreases in large neurons in dentatorubral-pallidoluysian atrophy and Machado-Joseph disease and in small neurons in Huntington disease	Neuropathology. 2022 Aug;42(4):274-281. doi: 10.1111/neup.12811. Epub 2022 May 23.	Original Article
92	Yamazaki S, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Urgent versus elective laparoscopic cholecystectomy following percutaneous transhepatic gallbladder drainage for high-risk grade II acute cholecystitis	Asian J Surg. 2023 Jan;46(1):431-437. doi: 10.1016/j.asjsur.2022.05.046. Epub 2022 May 21.	Original Article
93	Fujii Y, Ogiwara T, Kato H, et al.	脳神経外科	Cerebral Edema Due to Chemotherapeutic Wafer Implantation for Malignant Glioma: Registry Study of Correlation with Perioperative Epileptic Seizures	Neurol Med Chir (Tokyo). 2022 Jul 15;62(7):328-335. doi: 10.2176/jns-nmc.2021-0398. Epub 2022 May 25.	Original Article

94	Araki T, Tateishi K, Komatsu M, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Predictive value of post-treatment C-reactive protein-to-albumin ratio in locally advanced non-small cell lung cancer patients receiving durvalumab after chemoradiotherapy	Thorac Cancer. 2022 Jul;13(14):2031-2040. doi: 10.1111/1759-7714.14484. Epub 2022 May 26.	Original Article
95	Kitoh R, Nishio SY, Usami SI., et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Speech perception in noise in patients with idiopathic sudden hearing loss	Acta Otolaryngol. 2022 Mar-Apr;142(3-4):302-307. doi: 10.1080/00016489.2022.2059565. Epub 2022 Apr 24.	Original Article
96	Kobayashi J, Takezawa Y, Saito S, et al.	保健学科	Immature Platelet Fraction and Its Kinetics in Neonates	J Pediatr Hematol Oncol. 2023 Mar 1;45(2):e249-e253. doi: 10.1097/MPH.0000000000002487. Epub 2022 May 20.	Original Article
97	Sugiyama Y, Fuseya S, Aiba K, et al.	麻酔科蘇生科	Preoperative and postoperative complications of cerebrospinal fluid drainage in descending thoracic and thoraco-abdominal aortic aneurysm surgery: a single-center retrospective study	J Anesth. 2022 Aug;36(4):476-483. doi: 10.1007/s00540-022-03077-0. Epub 2022 Jun 3.	Original Article
98	Komatsu M, Yamamoto H, Uehara T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Prognostic implication of IgG4 and IgG1-positive cell infiltration in the lung in patients with idiopathic interstitial pneumonia	Sci Rep. 2022 Jun 3;12(1):9303. doi: 10.1038/s41598-022-13333-8.	Original Article

99	Saito N, Ashida A, Shirota S, et al.	皮膚科	Erythromelalgia Associated with Neuropathy in Sjögren's Syndrome: A Case Report	Acta Derm Venereol. 2022 Jun 15;102:adv00735. doi: 10.2340/actadv.v102.2316.	Case Reports
100	Shen D, Sugiyama Y, Ishida K, et al.	麻醉科蘇生科	Subfascial infiltration of 0.5% ropivacaine, but not 0.25% ropivacaine, exacerbates damage and inflammation in surgically incised abdominal muscles of rats	Sci Rep. 2022 Jun 7;12(1):9409. doi: 10.1038/s41598-022-13628-w.	Original Article
101	Kanaya K, Horiuchi T.	脳神経外科	Postoperative hematoma can be a risk factor in delayed facial palsy after vestibular schwannoma resection via a retrosigmoid approach: a retrospective single-center cohort study	Acta Neurol Belg. 2022 Jun 8. doi: 10.1007/s13760-022-01959-4. Online ahead of print.	Original Article
102	Koyama M, Miyagawa Y, Kitazawa M, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Laparoscopic right hemicolectomy with a cranial-first approach for right-sided colon cancer	Tech Coloproctol. 2022 Nov;26(11):919-920. doi: 10.1007/s10151-022-02641-w. Epub 2022 Jun 8.	Original Article
103	Kubota Y, Ogiwara T, Kitamura S, et al.	脳神経外科	Novel method of rugby headgear for managing postoperative cerebrospinal fluid leakage following craniotomy	Neurochirurgie. 2022 Oct;68(5):550-552. doi: 10.1016/j.neuchi.2022.05.002. Epub 2022 Jun 10.	Letter

104	Tabata H, Okada A, Kobayashi H, et al.	循環器内科	Usefulness of the controlled-rotation dilator sheath "Evolution RL" for extraction of old leads in two Japanese centers - An experience in use	J Cardiol. 2022 Oct;80(4):339-343. doi: 10.1016/j.jjcc.2022.05.006. Epub 2022 Jun 11.	Original Article
105	Nakajima Y, Yuzuriha S, Nagai F., et al.	形成外科	Longitudinal Morphological Changes in the Mucosal Free Margin After Unilateral Cleft Lip Repair	Cleft Palate Craniofac J. 2022 Jun 17:10556656221108851. doi: 10.1177/10556656221108851. Online ahead of print.	Original Article
106	Ohno K, Shibata T, Ito KI., et al.	乳腺・内分泌外科	Epidermal growth factor receptor activation confers resistance to lenvatinib in thyroid cancer cells	Cancer Sci. 2022 Sep;113(9):3193-3210. doi: 10.1111/cas.15465. Epub 2022 Jul 12.	Original Article
107	Takahashi Y, Nagaya T, Iwaya Y, et al.	消化器内科	CD8(+)Lymphocyte Infiltration Is a Specific Feature of Colitis Induced by Immune Checkpoint Inhibitors	Dig Dis Sci. 2023 Feb;68(2):451-459. doi: 10.1007/s10620-022-07598-2. Epub 2022 Jun 24.	Original Article

108	Kitamura S, Hanaoka Y, Koyama JI, et al.	脳神経外科	Real-time angiography in endovascular revascularization of intracranial atherosclerotic internal carotid artery stenosis under proximal balloon protection: "Retrograde suction- injection" technique and literature review	J Neuroradiol. 2023 Mar;50(2):217-222. doi: 10.1016/j.neurad.2022.06. 003. Epub 2022 Jun 22.	Review
109	Nishioka H, Yuzuriha S, Yanagisawa D., et al.	形成再建外科	"Predicting Facial Changes After Blepharoplasty"	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2022 Sep;75(9):3499-3505. doi: 10.1016/j.bjps.2022.04.06 6. Epub 2022 May 2.	Original Article
110	Suzuki Y, Kitaguchi Y, Ueno F, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Associations Between Morphological Phenotypes of COPD and Clinical Characteristics in Surgically Resected Patients with COPD and Concomitant Lung Cancer	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2022 Jun 21;17:1443-1452. doi: 10.2147/COPD.S366265. eCollection 2022.	Original Article
111	Kodama K, Kothbauer KF, Deletis V., et al.	脳神経外科	Mapping and monitoring of brainstem surgery	Handb Clin Neurol. 2022;186:151-161. doi: 10.1016/B978-0-12- 819826-1.00021-1.	Review
112	Yanagisawa R, Yamanaka R, Shimodaira S., et al.	輸血部	Analysis of Clinical Factors Associated with the Occurrence Time of Allergic Transfusion Reactions or Febrile Non- Hemolytic Transfusion Reactions	Ann Clin Lab Sci. 2022 May;52(3):382-390.	Original Article

113	Kato T, Fuke M, Nagai F, et al.	循環器内科	Successful endovascular treatment with a stent graft for chronic deep vein thrombosis with multiple arteriovenous fistulas: a case report	J Med Case Rep. 2022 Jul 2;16(1):257. doi: 10.1186/s13256-022-03480-x.	Case Reports
114	Shimodaira H, Tensho K, Koyama S, et al.	整形外科	Simultaneous Medial Patellofemoral Ligament and Medial Quadriceps Tendon-Femoral Ligament Reconstructions Using an Artificial Ligament for Lateral Patella Instability	Arthrosc Tech. 2022 May 11;11(6):e1021-e1026. doi: 10.1016/j.eats.2022.02.007. eCollection 2022 Jun.	Original Article
115	Iwasa YI, Hori K, Hiramatsu K, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Perioperative management of a patient with a giant thyroglossal duct cyst: a case report	J Surg Case Rep. 2022 Jun 30;2022(6):rjac309. doi: 10.1093/jscr/rjac309. eCollection 2022 Jun.	Case Reports
116	Koyama Y, Ohmori N, Momose H, et al.	特殊歯科・口腔外科	Detection of swallowing disorders with a multiple-channel surface electromyography sensor sheet	J Dent Sci. 2022 Jul;17(3):1185-1192. doi: 10.1016/j.jds.2021.12.015. Epub 2022 Jan 7.	Original Article
117	Ashihara N, Ota M, Fujinaga Y, et al.	内科学第二	The levels of IL-1 $\beta$ and soluble IL-1 receptors in patients with IgG4-related periaortitis/periarteritis	Adv Med Sci. 2022 Sep;67(2):257-261. doi: 10.1016/j.advms.2022.06.003. Epub 2022 Jul 1.	Original Article

118	Higuchi S, Ikegami S, Oba H, et al.	整形外科	Postoperative Residual Coronal Decompensation Inhibits Self-image Improvement in Adolescent Patients with Idiopathic Scoliosis	Asian Spine J. 2023 Feb;17(1):149-155. doi: 10.31616/asj.2021.0429. Epub 2022 Jul 4.	Original Article
119	Kuroguchi D, Uehara M, Yui M, et al.	整形外科	Comparison of spinous process-splitting laminectomy versus posterolateral fusion for lumbar degenerative spondylolisthesis	Eur Spine J. 2023 Feb;32(2):447-454. doi: 10.1007/s00586-022-07298-5. Epub 2022 Jul 5.	Original Article
120	Inomata Y, Hanaoka Y, Fujii Y, et al.	脳神経外科	Sequential Development of Putaminal Hemorrhage and Corona Radiata Infarction in the Same Lenticulostriate Arterial Territory	Acta Med Okayama. 2022 Jun;76(3):329-332. doi: 10.18926/AMO/63743.	Case Reports
121	Ito M, Watanabe N, Sawado Y, et al.	麻酔科蘇生科	An unusual foreign body in the oral cavity: a case report from a patient safety point of view and literature review	J Anesth. 2022 Aug;36(4):564-571. doi: 10.1007/s00540-022-03087-y. Epub 2022 Jul 6.	Case Reports
122	Kajihara R, Sakai H, Han Y, et al.	特殊菌科・口腔外科	Presence of periodontitis may synergistically contribute to cancer progression via Treg and IL-6	Sci Rep. 2022 Jul 8;12(1):11584. doi: 10.1038/s41598-022-15690-w.	Original Article

123	Mochizuki Y, Kodaira M, Kondo Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Delayed Detection of Hydrocephalus following Mildly Traumatic Subarachnoid Hemorrhage in Corticobasal Degeneration: A Case Report	Case Rep Neurol. 2022 May 30;14(2):268-273. doi: 10.1159/000524794. eCollection 2022 May-Aug.	Case Reports
124	Suzuki T, Imai S, Kobayashi K, et al.	放射線科	Rapid identification of source of delayed hemobilia following endoscopic metallic stenting for malignant biliary obstruction	Emerg Radiol. 2022 Dec;29(6):1049-1053. doi: 10.1007/s10140-022-02074-w. Epub 2022 Jul 12.	Original Article
125	Takeda R, Yamaguchi T, Hayashi S, et al.	遺伝子医療研究センター	Clinical and molecular features of patients with COL1-related disorders: Implications for the wider spectrum and the risk of vascular complications	Am J Med Genet A. 2022 Sep;188(9):2560-2575. doi: 10.1002/ajmg.a.62887. Epub 2022 Jul 13.	Original Article
126	Tomida H, Notake T, Shimizu A, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Rescue percutaneous transhepatic portal vein embolization after failed associated liver partition and portal vein ligation for staged hepatectomy in a patient with multiple liver metastases of rectal cancer: a case report	Surg Case Rep. 2022 Jul 14;8(1):132. doi: 10.1186/s40792-022-01491-w.	Original Article

127	Minatogawa M, Hirose T, Mizumoto S, et al.	遺伝子医療研究センター	Clinical and pathophysiological delineation of musculocontractural Ehlers-Danlos syndrome caused by dermatan sulfate epimerase deficiency (mcEDS-DSE): A detailed and comprehensive glycobiological and pathological investigation in a novel patient	Hum Mutat. 2022 Dec;43(12):1829-1836. doi: 10.1002/humu.24437. Epub 2022 Jul 23.	Case Reports
128	Yamamoto Y, Kitazawa M, Otsubo T, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Impact of seasonal and meteorological factors on the incidence of adhesive small bowel obstruction: A large-scale study using a national inpatient database	Ann Gastroenterol Surg. 2021 Dec 28;6(4):569-576. doi: 10.1002/ags3.12541. eCollection 2022 Jul.	Original Article
129	Ogawa N, Imamura T, Minagawa T, et al.	泌尿器科	Autologous Bilayered Adipose-Derived Mesenchymal Cell-Gelatin Sheets Reconstruct Ureters in Rabbits	Tissue Eng Part A. 2022 Oct;28(19-20):855-866. doi: 10.1089/ten.TEA.2022.0087. Epub 2022 Sep 16.	Original Article
130	Yamada T, Saitoh Y, Kametani K, et al.	保健学科	Involvement of membrane palmitoylated protein 2 (MPP2) in the synaptic molecular complex at the mouse cerebellar glomerulus	Histochem Cell Biol. 2022 Nov;158(5):497-511. doi: 10.1007/s00418-022-02137-6. Epub 2022 Jul 19.	Original Article

131	Oyanagi K, Hayashi H, Yamada M, et al.	神経難病学	The large neuron involvement in the neostriatum in Lewy body diseases	Neuropathology. 2022 Oct;42(5):459-463. doi: 10.1111/neup.12819. Epub 2022 Jul 20.	Letter
132	Wada Y, Goto N, Kitaguchi Y, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Referential equations for pulmonary diffusing capacity using GAMLSS models derived from Japanese individuals with near-normal lung function	PLoS One. 2022 Jul 21;17(7):e0271129. doi: 10.1371/journal.pone.027 1129. eCollection 2022.	Original Article
133	Nakahara K, Fujii M, Chino S, et al.	心臓血管外科	[Successful Removal of Intrapericardial Needle using Needle Guidance System]	Kyobu Geka. 2022 Aug;75(8):593-597.	Case Reports
134	Ohya A, Fujinaga Y.	放射線科	Magnetic resonance imaging findings of cystic ovarian tumors: major differential diagnoses in five types frequently encountered in daily clinical practice	Jpn J Radiol. 2022 Dec;40(12):1213-1234. doi: 10.1007/s11604-022- 01321-x. Epub 2022 Aug 2.	Review
135	Yui S, Sasayama D, Yamaguchi M, et al.	精神科	Altered levels of salivary cytokines in patients with major depressive disorder	Clin Neurol Neurosurg. 2022 Oct;221:107390. doi: 10.1016/j.clineuro.2022.1 07390. Epub 2022 Jul 27.	Original Article
136	Yamada SI, Hasegawa T, Yamakawa N, et al.	特殊歯科・口腔外科	Oral melanoma: a multicenter study of 69 patients from Japan	Clin Oral Investig. 2022 Oct;26(10):6187-6193. doi: 10.1007/s00784-022- 04568-w. Epub 2022 Aug 3.	Original Article

137	Nakazawa Y.	小児科	[A first-in-human clinical trial of piggyBac transposon-mediated GMR CAR-T cells against CD116-positive acute myeloid leukemia and juvenile myelomonocytic leukemia]	Rinsho Ketsueki. 2022;63(7):776-781. doi: 10.11406/rinketsu.63.776.	Original Article
138	Uehara M, Ikegami S, Takizawa T, et al.	整形外科	Factors Affecting the Waiting Time from Injury to Surgery in Elderly Patients with a Cervical Spine Injury: A Japanese Multicenter Survey	World Neurosurg. 2022 Oct;166:e815-e822. doi: 10.1016/j.wneu.2022.07.104. Epub 2022 Aug 2.	Original Article
139	Hayashi S, Oba T, Ichikawa K, et al.	乳腺・内分泌外科	Hypercalcemic crisis caused by primary hyperparathyroidism in a 11-year-old boy: a rare case report and review of the literature	Gland Surg. 2022 Jul;11(7):1279-1286. doi: 10.21037/ga-22-92.	Case Reports
140	Minagawa A, Uhara H, Ashida A, et al.	皮膚科	Clinical history analysis of Japanese melanoma cases and characteristics of melanoma with childhood onset	J Dermatol. 2022 Dec;49(12):1334-1337. doi: 10.1111/1346-8138.16545. Epub 2022 Aug 10.	Original Article
141	Nakamura K, Koga H, Takazawa Y, et al.	皮膚科	Late Onset of Cardiac Metastasis of a Melanoma following Nivolumab Immunotherapy	Case Rep Oncol. 2022 Jun 27;15(2):654-658. doi: 10.1159/000524429. eCollection 2022 May-Aug.	Case Reports

142	Fukasawa H, Kameyama A, Tsukada M, et al.	救急科	Infected aortic pseudoaneurysm caused by an inferior vena cava filter	Acute Med Surg. 2022 Aug 8;9(1):e767. doi: 10.1002/ams2.767. eCollection 2022 Jan-Dec.	Case Reports
143	Yamada SI, Hasegawa T, Yoshimura N, et al.	特殊歯科・口腔外科	Prevalence of and risk factors for postoperative complications after lower third molar extraction: A multicenter prospective observational study in Japan	Medicine (Baltimore). 2022 Aug 12;101(32):e29989. doi: 10.1097/MD.00000000000029989.	Original Article
144	Hayashi H, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Combination of sarcopenia and prognostic nutritional index to predict long-term outcomes in patients undergoing initial hepatectomy for hepatocellular carcinoma	Asian J Surg. 2023 Feb;46(2):816-823. doi: 10.1016/j.asjsur.2022.07.122. Epub 2022 Aug 10.	Original Article
145	Kawakami K, Tanaka S, Sugiyama Y, et al.	麻酔科蘇生科	Intrathecal morphine exacerbates paresis with increasing muscle tone of hindlimbs in rats with mild thoracic spinal cord injury but without damage of lumbar $\alpha$ -motoneurons	PLoS One. 2022 Aug 15;17(8):e0273095. doi: 10.1371/journal.pone.0273095. eCollection 2022.	Original Article
146	Hosoda K, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	An unusual cyst associated with gallbladder cancer	Oxf Med Case Reports. 2022 Aug 18;2022(8):omac090. doi: 10.1093/omcr/omac090. eCollection 2022 Aug.	Case Reports

147	Droma Y, Hanaoka M, Kinjo T, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	The blunted vascular endothelial growth factor-A (VEGF-A) response to high-altitude hypoxia and genetic variants in the promoter region of the VEGFA gene in Sherpa highlanders	PeerJ. 2022 Aug 17;10:e13893. doi: 10.7717/peerj.13893. eCollection 2022.	Original Article
148	Ogiwara T, Goto T, Fujii Y, et al.	脳神経外科	The Current Status in Intraoperative Image-Guided Neurosurgery Associated with Progressive Operating Rooms: A Retrospective Analysis	World Neurosurg. 2022 Nov;167:e710-e716. doi: 10.1016/j.wneu.2022.08.062. Epub 2022 Aug 23.	Original Article
149	Shimojima Y, Kishida D, Ichikawa T, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Hypertrophic pachymeningitis in ANCA-associated vasculitis: a cross-sectional and multi-institutional study in Japan (J-CANVAS)	Arthritis Res Ther. 2022 Aug 23;24(1):204. doi: 10.1186/s13075-022-02898-4.	Original Article
150	Oyama K, Ichinohe F, Yamada A, et al.	放射線科	Optimal Temporal Resolution to Achieve Good Image Quality and Perform Pharmacokinetic Analysis in Free-breathing Dynamic Contrast-enhanced MR Imaging of the Pancreas	Magn Reson Med Sci. 2022 Aug 23. doi: 10.2463/mrms.mp.2022-0035. Online ahead of print.	Original Article

151	Aomura D, Kurasawa Y, Harada M, et al.	腎臓内科	Early detection of thiamine deficiency by non-thyroidal illness syndrome in a hemodialysis patient	CEN Case Rep. 2023 Feb;12(1):110-115. doi: 10.1007/s13730-022-00729-8. Epub 2022 Aug 26.	Case Reports
152	Okumura T, Joshita S, Sugiura A, et al.	内科学第二	Quantitative changes of lipoprotein(a) in chronic hepatitis C patients achieving a sustained virological response by direct-acting antivirals	Clin Res Hepatol Gastroenterol. 2022 Oct;46(8):102011. doi: 10.1016/j.clinre.2022.102011. Epub 2022 Aug 27.	Letter
153	Uehara M, Ikegami S, Takizawa T, et al.	整形外科	Is Blood Loss Greater in Elderly Patients under Antiplatelet or Anticoagulant Medication for Cervical Spine Injury Surgery? A Japanese Multicenter Survey	Spine Surg Relat Res. 2021 Dec 27;6(4):366-372. doi: 10.22603/ssrr.2021-0183. eCollection 2022.	Original Article
154	Mita A, Hirano S, Uehara T, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Fatal disseminated mucormycosis due to Cunninghamella bertholletiae infection after ABO-incompatible living donor liver transplantation: a case report	Surg Case Rep. 2022 Sep 2;8(1):164. doi: 10.1186/s40792-022-01516-4.	Original Article

155	Ishida F.	保健学科	[Clinical and pathophysiological features of acquired pure red cell aplasia: based on the concept of T-cell dysregulations]	Rinsho Ketsueki. 2022;63(8):893-898. doi: 10.11406/rinketsu.63.893.	Original Article
156	Tanaka H, Kitazawa M, Miyagawa Y, et al.	特殊歯科・口腔外科	Risk factors for umbilical incisional hernia after laparoscopic colorectal surgery	ANZ J Surg. 2022 Dec;92(12):3219-3223. doi: 10.1111/ans.17979. Epub 2022 Sep 8.	Original Article
157	Ogawa E, Edamitsu T, Ohmori H, et al.	皮膚科	Transcription Factors Runx1 and Runx3 Suppress Keratin Expression in Undifferentiated Keratinocytes	Int J Mol Sci. 2022 Sep 2;23(17):10039. doi: 10.3390/ijms231710039.	Original Article
158	Nakazawa H, Sakai K, Sudo Y, et al.	血液・腫瘍内科学	Comparative analysis of humoral responses to BNT162b2 vaccine among patients with hematologic disorders and organ transplant recipients	Transpl Immunol. 2022 Dec;75:101713. doi: 10.1016/j.trim.2022.101713. Epub 2022 Sep 12.	Original Article
159	Komatsu M, Yamamoto H, Matsui S, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	Respiratory lesions in IgG4-related disease: classification using 2019 American College of Rheumatology/European League Against Rheumatism criteria	ERJ Open Res. 2022 Sep 12;8(3):00120-2022. doi: 10.1183/23120541.00120-2022. eCollection 2022 Jul.	Original Article

160	Ishimine N, Wu S, Ota R, et al.	臨床検査部	Development of free 25-hydroxyvitamin D3 assay method using liquid chromatography-tandem mass spectrometry	Biosci Rep. 2022 Oct 28;42(10):BSR20221326. doi: 10.1042/BSR20221326.	Original Article
161	Kawakami T, Nakazawa H, Ishida F., et al.	血液・腫瘍内科学	Somatic mutations in acquired pure red cell aplasia	Semin Hematol. 2022 Jul;59(3):131-136. doi: 10.1053/j.seminhematol.2022.07.001. Epub 2022 Jul 16.	Original Article
162	Kanaya K, Horiuchi T.	脳神経外科	[Brain Abscess]	No Shinkei Geka. 2022 Sep;50(5):933-941. doi:	Original Article
163	Notake T, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Right Kidney Position for Laparoscopic Liver Resection of Tumors Located in the Posterosuperior Region	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech. 2022 Oct 1;32(5):621-626. doi: 10.1097/SLE.0000000000001081.	Original Article
164	Eguchi T, Miura K, Hamanaka K, et al.	呼吸器外科	Adoption of Robotic Core Technology in Minimally Invasive Lung Segmentectomy: Review	J Pers Med. 2022 Aug 30;12(9):1417. doi: 10.3390/jpm12091417.	Review
165	Yamazaki D, Hanaoka Y, Koyama JI, et al.	脳神経外科	New Distal Balloon Protection System for Transradial Carotid Artery Stenting After Percutaneous Guardwire Withdrawal: Jailbreak Technique	World Neurosurg. 2022 Dec;168:58-62. doi: 10.1016/j.wneu.2022.09.078. Epub 2022 Sep 22.	Case Reports
166	Kakihara S, Hirano T, Kitahara J, et al.	眼科	Application of optical coherence tomography angiography to assess systemic severity in patients with hereditary transthyretin amyloidosis	PLoS One. 2022 Sep 26;17(9):e0275180. doi: 10.1371/journal.pone.0275180. eCollection 2022.	Original Article

167	Saida T, Koga H, Uhara H., et al.	皮膚科	Dermoscopy for Acral Melanocytic Lesions: Revision of the 3- step Algorithm and Refined Definition of the Regular and Irregular Fibrillar Pattern	Dermatol Pract Concept. 2022 Jul 1;12(3):e2022123. doi: 10.5826/dpc.1203a123. eCollection 2022 Jul.	Original Article
168	Oba H, Uehara M, Ikegami S, et al.	整形外科	Tips and pitfalls to improve accuracy and reduce radiation exposure in intraoperative CT navigation for pediatric scoliosis: a systematic review	Spine J. 2023 Feb;23(2):183-196. doi: 10.1016/j.spinee.2022.09. 004. Epub 2022 Sep 27.	Review
169	Miyamoto T, Kobara H, Shiozawa T., et al.	産科婦人科	Biology and management of lobular endocervical glandular hyperplasia	J Obstet Gynaecol Res. 2022 Dec;48(12):3056- 3067. doi: 10.1111/jog.15441. Epub 2022 Sep 30.	Review
170	Takahashi Y, Oguchi K, Mochizuki Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Distribution and progression of cerebral amyloid angiopathy in early- onset V30M (p.V50M) hereditary ATTR amyloidosis	Amyloid. 2023 Mar;30(1):109-118. doi: 10.1080/13506129.2022.2 128331. Epub 2022 Sep 30.	Original Article
171	Sasayama D, Kuge R, Toibana Y, et al.	精神科	Trends in Diagnosed Attention- Deficit/Hyperactivity Disorder Among Children, Adolescents, and Adults in Japan From April 2010 to March 2020	JAMA Netw Open. 2022 Sep 1;5(9):e2234179. doi: 10.1001/jamanetworkopen .2022.34179.	Original Article

172	Takizawa S, Soga E, Hayashi W, et al.	保健学科	Genomic landscape of bla(GES-5)- and bla(GES-24)-harboring Gram-negative bacteria from hospital wastewater: emergence of class 3 integron-associated bla(GES-24) genes	J Glob Antimicrob Resist. 2022 Dec;31:196-206. doi: 10.1016/j.jgar.2022.09.005. Epub 2022 Sep 28.	Original Article
173	Katsuie S, Nakamura K, Ogawa E, et al.	皮膚科	Relapse of Palmoplantar Pustulosis Following COVID-19 Vaccination	Cureus. 2022 Aug 30;14(8):e28604. doi: 10.7759/cureus.28604. eCollection 2022 Aug.	Case Reports
174	Yamaguchi T, Hayashi S, Hayashi D, et al.	遺伝子医療研究センター	Comprehensive genetic screening for vascular Ehlers-Danlos syndrome through an amplification-based next-generation sequencing system	Am J Med Genet A. 2023 Jan;191(1):37-51. doi: 10.1002/ajmg.a.62982. Epub 2022 Oct 3.	Original Article
175	Koike S, Shimizu K, Ide S, et al.	呼吸器外科	Is using a consolidation tumor ratio 0.5 as criterion feasible in daily practice? Evaluation of interobserver measurement variability of consolidation tumor ratio of lung cancer less than 3 cm in size	Thorac Cancer. 2022 Nov;13(21):3018-3024. doi: 10.1111/1759-7714.14653. Epub 2022 Oct 3.	Original Article

176	Oyake K, Tateishi T, Murayama J, et al.	保健学科	Blood pressure reduction cut-points for orthostatic hypotension in stroke survivors using a sit-up test: a multicentre cross-sectional study	J Hypertens. 2023 Jan 1;41(1):83-89. doi: 10.1097/HJH.00000000000003305. Epub 2022 Oct 4.	Original Article
177	Tsukakoshi D, Yamamoto S, Nojima I, et al.	リハビリテーション部	Association between postoperative delirium and heart rate variability in the intensive care unit and readmissions and mortality in elderly patients with cardiovascular surgery	Heart Vessels. 2023 Mar;38(3):438-447. doi: 10.1007/s00380-022-02173-1. Epub 2022 Oct 7.	Original Article
178	Mimura T, Ikegami S, Banno T, et al.	整形外科	Usefulness of modified S-line for upper instrumented vertebra selection in adolescent idiopathic scoliosis Lenke type 2 curves	Sci Rep. 2022 Oct 10;12(1):16996. doi: 10.1038/s41598-022-21274-5.	Original Article
179	Usami Y, Yanagisawa R, Kanai R, et al.	臨床検査部	Basophil activation test for allergic and febrile non-haemolytic transfusion reactions among paediatric patients with haematological or oncological disease	Vox Sang. 2023 Jan;118(1):41-48. doi: 10.1111/vox.13365. Epub 2022 Oct 12.	Original Article

180	Nakamura T, Shimizu-Ichikawa M, Takahashi K, et al.	精神科	Improvement of catatonia-induced rapid respiratory failure with electroconvulsive therapy: A case report	Asian J Psychiatr. 2022 Dec;78:103280. doi: 10.1016/j.ajp.2022.103280. Epub 2022 Oct 6.	Case Reports
181	Tanaka S, Ishida T, Ishida K, et al.	麻醉科蘇生科	A randomized, double-blinded, placebo-controlled, crossover study of the HCN channel blocker ivabradine in a capsaicin-induced pain model in healthy volunteers	Sci Rep. 2022 Oct 14;12(1):17246. doi: 10.1038/s41598-022-22309-7.	Original Article
182	Hara D, Okamura T, Iwaya Y, et al.	消化器内科	Histopathologically defined intestinal metaplasia in lesser curvature of corpus prior to Helicobacter pylori eradication is a risk factor for gastric cancer development	Helicobacter. 2022 Dec;27(6):e12934. doi: 10.1111/hel.12934. Epub 2022 Oct 20.	Original Article
183	Murakami K, Kikugawa S, Seki S, et al.	整形外科	Exome Sequencing Reveals De Novo Variants in Congenital Scoliosis	J Pediatr Genet. 2021 Apr 14;11(4):287-291. doi: 10.1055/s-0041-1726282. eCollection 2022 Dec.	Original Article
184	Nakashima I, Saito S, Akahoshi E, et al.	小児科	Non-viral inducible caspase 9 mRNA delivery using lipid nanoparticles against breast cancer: An in vitro study	Biochem Biophys Res Commun. 2022 Dec 20;635:144-153. doi: 10.1016/j.bbrc.2022.09.105. Epub 2022 Oct 4.	Original Article

185	Eguchi T, Miura K, Hamanaka K, et al.	呼吸器外科	Robotic segmentectomy using a lung base-flip approach	JTCVS Tech. 2022 Aug 3;15:174-176. doi: 10.1016/j.xjtc.2022.07.01 3. eCollection 2022 Oct.	Original Article
186	Tanaka S, Kuge RI, Nakano M, et al.	保健学科	Outcomes of an interdisciplinary return to work intervention including occupational therapy for mood and adjustment disorders: A single-arm clinical trial	Work. 2023;74(2):515- 530. doi: 10.3233/WOR- 211144.	Original Article
187	Miura K, Shimizu K, Mishima S, et al.	呼吸器外科	Anatomical resection for right B(3) downwards-shifting malformation	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2023 Jan;71(1):71- 75. doi: 10.1007/s11748- 022-01884-6. Epub 2022 Oct 27.	Original Article
188	Suzuki R, Kiniwa Y, Omodaka T, et al.	皮膚科	Alopecia areata as an immune-related adverse event associated with response to immune checkpoint inhibitors	Eur J Dermatol. 2022 Jul 1;32(4):546-548. doi: 10.1684/ejd.2022.4315.	Original Article
189	Hirano T, Hoshiyama K, Takahashi Y, et al.	眼科	Wide-field swept- source OCT angiography (23 × 20 mm) for detecting retinal neovascularization in eyes with proliferative diabetic retinopathy	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2023 Feb;261(2):339-344. doi: 10.1007/s00417-022- 05878-1. Epub 2022 Oct 28.	Original Article

190	Kitagawa T, Hiraya K, Denda T, et al.	保健学科	A comparison of different exercise intensities for improving bone mineral density in postmenopausal women with osteoporosis: A systematic review and meta-analysis	Bone Rep. 2022 Oct 21;17:101631. doi: 10.1016/j.bonr.2022.1016 31. eCollection 2022 Dec.	Review
191	Tsukakoshi D, Yamamoto S, Takeda S, et al.	リハビリテーション部	Clinical Perspectives on Cardiac Rehabilitation After Heart Failure in Elderly Patients with Frailty: A Narrative Review	Ther Clin Risk Manag. 2022 Oct 27;18:1009- 1028. doi: 10.2147/TCRM.S350748. eCollection 2022.	Review
192	Okumura T, Kimura T, Nakajima D, et al.	内科学第二	Splenic artery pseudoaneurysm resulting from gastric ulcer presenting acute upper gastrointestinal bleeding	Radiol Case Rep. 2022 Oct 28;18(1):97-99. doi: 10.1016/j.radcr.2022.09.1 05. eCollection 2023 Jan.	Case Reports
193	Okumura T, Noguchi T, Sekiguchi N, et al.	内科学第二	Clinical Analysis of Extrapulmonary Neuroendocrine Carcinoma: A Retrospective and Single Institution Experience	Chemotherapy. 2023;68(2):87-94. doi: 10.1159/000527377. Epub 2022 Nov 3.	Review
194	Nakajima T, Uehara T, Iwaya M, et al.	臨床検査部	Osteopontin expression in the invasive front stroma of colorectal adenocarcinoma is associated with tumor budding and prognosis	Pathol Res Pract. 2022 Dec;240:154190. doi: 10.1016/j.prp.2022.15419 0. Epub 2022 Oct 28.	Original Article

195	Tokumaru S, Kitazawa M, Nakamura S, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Intraoperative visualization of morphological patterns of the thoracic duct by subcutaneous inguinal injection of indocyanine green in esophagectomy for esophageal cancer	Ann Gastroenterol Surg. 2022 Jun 22;6(6):873-879. doi: 10.1002/ags3.12594. eCollection 2022 Nov.	Original Article
196	Hosoda K, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Usefulness of frailty to predict short- and long-term outcomes in patients who have undergone major hepatectomy for perihilar cholangiocarcinoma	Ann Gastroenterol Surg. 2022 Jul 6;6(6):833-841. doi: 10.1002/ags3.12596. eCollection 2022 Nov.	Original Article
197	Tsunekawa K, Yuzuriha S.	形成外科	Wound exudate reduction from retroperitoneum with facilitation of healing by triamcinolone injection: A case report	Medicine (Baltimore). 2022 Nov 4;101(44):e31464. doi: 10.1097/MD.00000000000031464.	Case Reports
198	Yamada M.	神経難病学	[Neuropathological Findings in Cerebellar Ataxia With Neuropathy and Vestibular Areflexia Syndrome]	Brain Nerve. 2022 Nov;74(11):1257-1260. doi: 10.11477/mf.1416202224.	Original Article
199	Iwadare T, Kimura T, Tanaka N, et al.	内科学第二	Circulating thrombospondin 2 levels reflect fibrosis severity and disease activity in HCV-infected patients	Sci Rep. 2022 Nov 7;12(1):18900. doi: 10.1038/s41598-022-23357-9.	Original Article

200	Komatsu M, Naito K, Chino S, et al.	心臟血管外科	Central extracorporeal membrane oxygenation with left- ventricular vent for fulminant myocarditis: a retrospective study	J Artif Organs. 2022 Nov 8. doi: 10.1007/s10047- 022-01371-y. Online ahead of print.	Original Article
201	Nakazawa Y.	小児科	[Current status and future perspective of CAR T-cell therapy for acute myeloid leukemia]	Rinsho Ketsueki. 2022;63(10):1446-1453. doi: 10.11406/rinketsu.63.144 6.	Original Article
202	Iwadare T, Kimura T, Kunimoto H, et al.	内科学第二	Higher Responsiveness for Women, High Transaminase Levels, and Fat Percentage to Pemafibrate Treatment for NAFLD	Biomedicines. 2022 Nov 4;10(11):2806. doi: 10.3390/biomedicines1011 2806.	Original Article
203	Isobe F, Hayashi M, Kobayashi R, et al.	整形外科	Clinical Presentation and Characteristics of the Upper Extremity in Patients with Musculocontractural Ehlers-Danlos Syndrome	Genes (Basel). 2022 Oct 29;13(11):1978. doi: 10.3390/genes13111978.	Original Article
204	Nakamura K, Okuyama R.	皮膚科	Changes in the Immune Cell Repertoire for the Treatment of Malignant Melanoma	Int J Mol Sci. 2022 Oct 27;23(21):12991. doi: 10.3390/ijms232112991.	Review

205	Horiuchi I, Horiuchi A, Umemura T., et al.	消化器内科	Serum Leucine-Rich $\alpha$ 2 Glycoprotein: A Biomarker for Predicting the Presence of Ulcerative Colitis but Not Ulcerative Proctitis	J Clin Med. 2022 Oct 28;11(21):6366. doi: 10.3390/jcm11216366.	Original Article
206	Takahashi Y, Hirano T, Nakamura M, et al.	眼科	Temporal Change in Anterior Chamber Depth after Combined Vitrectomy and Cataract Surgery Using Different Sizes of Intraocular Lens	J Clin Med. 2022 Oct 30;11(21):6430. doi: 10.3390/jcm11216430.	Original Article
207	Yamamoto S, Sakai Y, Matsumori K, et al.	リハビリテーション部	Clinical Outcomes and Prevalence of Sarcopenia in Patients with Moderate to Severe COVID-19	J Clin Med. 2022 Nov 6;11(21):6578. doi: 10.3390/jcm11216578.	Original Article
208	Yamazaki D, Hanaoka Y, Koyama JI, et al.	脳神経外科	Transradial Stent- Assisted Coiling Using "Dual-Jailing" Technique for Kissing Aneurysms of the Internal Carotid Artery: Technical Note and Literature Review	World Neurosurg. 2023 Feb;170:175-181. doi: 10.1016/j.wneu.2022.11.0 18. Epub 2022 Nov 8.	Review

209	Takizawa T, Ikegami S, Uehara M, et al.	整形外科	Surgical results for cervical spondylotic myelopathy with inconsistent between deep tendon reflex findings and magnetic resonance imaging findings	J Clin Neurosci. 2023 Jan;107:157-161. doi: 10.1016/j.jocn.2022.11.001. Epub 2022 Nov 12.	Original Article
210	Minatogawa M, Tsuji T, Inaba M, et al.	遺伝子医療研究センター	Atypical Sotos syndrome caused by a novel splice site variant	Hum Genome Var. 2022 Nov 16;9(1):41. doi: 10.1038/s41439-022-00219-4.	Original Article
211	Okmaura T, Iwaya Y, Iwaya M, et al.	消化器内科	Gastric Cancer After Helicobacter pylori Eradication for Nodular Gastritis in an Adolescent	Cureus. 2022 Oct 6;14(10):e29984. doi: 10.7759/cureus.29984. eCollection 2022 Oct.	Case Reports
212	Yanagisawa R, Tamaki M, Tanoshima R, et al.	輸血部	Risk factors for fatal cardiac complications after allogeneic hematopoietic cell transplantation: Japanese Society for Transplantation and Cellular Therapy transplant complications working group	Hematol Oncol. 2022 Nov 17. doi: 10.1002/hon.3101. Online ahead of print.	Original Article
213	Sato M, Shiba N, Miyazaki D, et al.	脳神経内科/リウマチ・膠原病内科	Restoring Dystrophin Expression with Duchenne Muscular Dystrophy Exon 45 Skipping in Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes	Methods Mol Biol. 2023;2587:141-151. doi: 10.1007/978-1-0716-2772-3_8.	Original Article

214	Yanagisawa R, Hirakawa T, Doki N, et al.	輸血部	Severe short-term adverse events in related bone marrow or peripheral blood stem cell donors	Int J Hematol. 2023 Mar;117(3):421-427. doi: 10.1007/s12185-022-03489-4. Epub 2022 Nov 20.	Original Article
215	Kobayashi H, Tohyama S, Kanazawa H, et al.	循環器内科	Intracoronary transplantation of pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes: Inefficient procedure for cardiac regeneration	J Mol Cell Cardiol. 2023 Jan;174:77-87. doi: 10.1016/j.yjmcc.2022.11.004. Epub 2022 Nov 18.	Original Article
216	Ichikawa T, Shimojima Y, Nomura S, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Testicular vasculitis in eosinophilic granulomatosis with polyangiitis: a case-based review	Clin Rheumatol. 2023 Jan;42(1):293-299. doi: 10.1007/s10067-022-06453-z. Epub 2022 Nov 21.	Case Reports
217	Iwasa YI, Kitoh R, Hiramatsu K, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Impact of Low Skeletal Muscle Mass on the Prognosis of Patients with Head and Neck Cancer Treated Nonsurgically	ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec. 2023;85(1):36-43. doi: 10.1159/000527307. Epub 2022 Nov 24.	Original Article
218	Iwaya M, Kobayashi S, Nakayama Y, et al.	臨床検査部	Number and distribution of eosinophils and lymphocytes in the Japanese pediatric gastrointestinal tract: in search of a definition for "abnormally increased eosinophils"	World J Pediatr. 2023 Mar;19(3):251-260. doi: 10.1007/s12519-022-00646-x. Epub 2022 Nov 27.	Original Article

219	Kitahara J, Kakiyama S, Hirano T, et al.	眼科	Microhook ab interno trabeculotomy for secondary glaucoma in patients with hereditary transthyretin amyloidosis	Jpn J Ophthalmol. 2023 Jan;67(1):84-90. doi: 10.1007/s10384-022-00966-5. Epub 2022 Nov 28.	Original Article
220	Minagawa A, Nakamura A, Koga H, et al.	皮膚科	Diagnostic Utility of a Revised Formula-based Melanoma Discrimination Index for Nail Streaks in Dermoscopic Practice	Acta Derm Venereol. 2022 Dec 6;102:adv00829. doi: 10.2340/actadv.v102.4351.	Original Article
221	Nakamura S, Uehara M, Kobayashi S, et al.	整形外科	Composite hemangioendothelioma in the cervical spine with kaposiform hemangioendothelioma features in an elderly patient: a case report	BMC Geriatr. 2022 Dec 9;22(1):952. doi: 10.1186/s12877-022-03677-1.	Case Reports
222	Matsuoka S, Shimizu K, Koike S, et al.	呼吸器外科	Significance of the evaluation of tracheal length using a three-dimensional imaging workstation	J Thorac Dis. 2022 Nov;14(11):4276-4284. doi: 10.21037/jtd-22-595.	Original Article
223	Hosoda K, Shimizu A, Kubota K, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Impact of Early Enteral Nutrition on Delayed Gastric Emptying and Nutritional Status After Pancreaticoduodenectomy	World J Surg. 2023 Mar;47(3):764-772. doi: 10.1007/s00268-022-06844-y. Epub 2022 Dec 16.	Original Article

224	Kuroiwa M, Hanaoka Y, Koyama JI, et al.	脳神経外科	Transradial Mechanical Thrombectomy Using a Radial-specific Neurointerventional Guiding Sheath for Anterior Circulation Large-Vessel Occlusions: Preliminary Experience and Literature Review	World Neurosurg. 2023 Mar;171:e581-e589. doi: 10.1016/j.wneu.2022.12.060. Epub 2022 Dec 15.	Review
225	Kondo Y, Yoshinaga T, Nakamura K, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Severe Cerebral Small Vessel Disease Caused by the Uniallelic p.A252T Variant of HTRA1	Neurol Genet. 2022 Dec 15;9(1):e200047. doi: 10.1212/NXG.000000000200047. eCollection 2023 Feb.	Original Article
226	Hara H, Imamura T, Suzuki A, et al.	泌尿器科	Cold stress-induced bladder overactivity in type 2 diabetic mellitus rats is mitigated by the combination of a M(3)-muscarinic antagonist and a $\beta$ (3)-adrenergic agonist	Low Urin Tract Symptoms. 2023 Mar;15(2):68-75. doi: 10.1111/luts.12472. Epub 2022 Dec 21.	Original Article
227	Abe D, Hanaoka Y, Kobayashi K, et al.	脳神経外科	<Editors' Choice> Surgical removal of an intracranially migrated acupuncture needle: a case report and literature review	Nagoya J Med Sci. 2022 Nov;84(4):890-899. doi: 10.18999/nagjms.84.4.890 .	Case Reports
228	Arai Y, Sasayama D, Takeuchi Y, et al.	精神科	A Case of Adult Tourette Syndrome: Iron Administration Reduces Tic Severity	Psychiatr Danub. 2022 Winter;34(4):719-721. doi: 10.24869/psyd.2022.719.	Case Reports

229	Sato M, Mutai H, Iwanami J, et al.	保健学科	Difference between the Effects of Peripheral Sensory Nerve Electrical Stimulation on the Excitability of the Primary Motor Cortex: Examination of the Combinations of Stimulus Frequency and Duration	Brain Sci. 2022 Nov 29;12(12):1637. doi: 10.3390/brainsci12121637	Original Article
230	Hoshiyama K, Hirano T, Hirabayashi K, et al.	眼科	Morphological Changes in the Foveal Avascular Zone after Panretinal Photocoagulation for Diabetic Retinopathy Using OCTA: A Study Focusing on Macular Ischemia	Medicina (Kaunas). 2022 Dec 6;58(12):1797. doi: 10.3390/medicina58121797.	Original Article
231	Nakazawa H, Kaiume H, Igarashi K, et al.	血液・腫瘍内科学	A Diagnostic Impact of Serum Autotaxin Levels in Patients with Bone Marrow Fibrosis	Clin Lymphoma Myeloma Leuk. 2023 Feb;23(2):e117-e124. doi: 10.1016/j.clml.2022.12.006. Epub 2022 Dec 7.	Original Article
232	Iwasa Y, Klimara MJ, Yoshimura H, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Mutation-agnostic RNA interference with engineered replacement rescues Tmc1-related hearing loss	Life Sci Alliance. 2022 Dec 27;6(3):e202201592. doi: 10.26508/lsa.202201592. Print 2023 Mar.	Original Article

233	Takamatsu R, Shimojima Y, Kishida D, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	The impact of normal serum complement levels on the disease classification and clinical characteristics in systemic lupus erythematosus	Adv Rheumatol. 2022 Dec 27;62(1):49. doi: 10.1186/s42358-022-00283-y.	Original Article
234	Harada M, Iwabuchi R, Yamaguchi A, et al.	腎臓内科	Predictive Factors of Cytomegalovirus Viremia during the Clinical Course of Anti-Neutrophil Cytoplasmic Antibody (ANCA)-Associated Vasculitis: A Single Center Observational Study	J Clin Med. 2023 Jan 2;12(1):351. doi: 10.3390/jcm12010351.	Original Article
235	Nakamura S, Kitazawa M, Miyagawa Y, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	RhoA G17E/Vav1 Signaling Induces Cancer Invasion via Matrix Metalloproteinase-9 in Gastric Cancer	Technol Cancer Res Treat. 2023 Jan-Dec;22:15330338221146024. doi: 10.1177/15330338221146024.	Original Article
236	Kanai T, Oba T, Morikawa H, et al.	乳腺・内分泌外科	Changes in the pathophysiology of primary hyperparathyroidism and analysis of postoperative recurrence cases at a regional core hospital in Japan: experience of 35 years in Shinshu University Hospital	Ann Palliat Med. 2023 Jan;12(1):36-46. doi: 10.21037/apm-22-1171. Epub 2022 Dec 21.	Original Article

237	Koiwai K, Hirasawa D, Sugimura M, et al.	放射線科	Impact of upgraded radiotherapy system on outcomes in postoperative head and neck squamous cell carcinoma patients	Rep Pract Oncol Radiother. 2022 Dec 29;27(6):954-962. doi: 10.5603/RPOR.a2022.0120. eCollection 2022.	Original Article
238	Hirano T, Toriyama Y, Takahashi Y, et al.	眼科	Retinal arterial occlusive vasculitis after multiple intravitreal brolocizumab injections for diabetic macular edema	Am J Ophthalmol Case Rep. 2022 Dec 30;29:101788. doi: 10.1016/j.ajoc.2022.101788. eCollection 2023 Mar.	Case Reports
239	Sonehara K, Ozawa R, Hama M, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー内科	C-PLAN index as a prognostic factor for patients with previously untreated advanced non-small cell lung cancer who received combination immunotherapy: A multicenter retrospective study	Thorac Cancer. 2023 Feb;14(6):636-642. doi: 10.1111/1759-7714.14798. Epub 2023 Jan 12.	Original Article
240	Koizumi T, Nishino Y, Takiguchi T, et al.	血液・腫瘍内科学	Epidemiological and Therapeutic Analyses in Lung Cancer Patients Over 80 Years Old in the Hokushin Region: A Retrospective Hospital Administrative Database Study	Clin Lung Cancer. 2023 Mar;24(2):145-152. doi: 10.1016/j.clcc.2022.12.001. Epub 2022 Dec 31.	Original Article
241	Tajiri M, Kodaira M, Nakamura K, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Tongue Hemiatrophy in Multifocal Motor Neuropathy	Intern Med. 2023 Jan 15. doi: 10.2169/internalmedicine.1329-22. Online ahead of print.	Original Article

242	Kubota K, Shimizu A, Notake T, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Treatment strategies for unruptured pancreaticoduodenal artery aneurysms associated with celiac artery occlusion	Ann Gastroenterol Surg. 2022 Aug 2;7(1):182-189. doi: 10.1002/ags3.12609. eCollection 2023 Jan.	Original Article
243	Komatsu M, Naito K, Chino S, et al.	心臓血管外科	Intimal Sarcoma after Endovascular Abdominal Aortic Aneurysm Repair	Ann Vasc Dis. 2022 Dec 25;15(4):344-347. doi: 10.3400/avd.cr.22-00057.	Original Article
244	Utsumi M, Motoki N, Yokota S, et al.	小児科	Predictors of a non-response to prophylactic indomethacin for patent ductus arteriosus in preterm infants	Pediatr Neonatol. 2023 Jan 2:S1875-9572(22)00270-4. doi: 10.1016/j.pedneo.2022.09.015. Online ahead of print.	Original Article
245	Kitoh R, Takumi Y, Nishio SY, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Sound localization in patients with idiopathic sudden hearing loss	Acta Otolaryngol. 2023 Jan;143(1):43-48. doi: 10.1080/00016489.2023.2168748. Epub 2023 Jan 20.	Original Article
246	Nakamura T, Kaneko T, Sasayama D, et al.	精神科	Cerebellar network changes in depressed patients with and without autism spectrum disorder: A case-control study	Psychiatry Res Neuroimaging. 2023 Mar;329:111596. doi: 10.1016/j.psychresns.2023.111596. Epub 2023 Jan 16.	Original Article
247	Kasai A, Kobayashi J, Nishioka M, et al.	遺伝子医療研究センター	Early Phase Increase in Serum TIMP-1 in Patients with Acute Encephalopathy with Biphasic Seizures and Late Reduced Diffusion	Children (Basel). 2022 Dec 30;10(1):78. doi: 10.3390/children10010078.	Original Article

248	Yamazaki K, Kanaya K, Uda T, et al.	脳神経外科	Frontal Encephalocele Plus Epilepsy: A Case Report and Review of the Literature	Brain Sci. 2023 Jan 9;13(1):115. doi: 10.3390/brainsci13010115	Case Reports
249	Shimizu T, Oba T, Ito KI., et al.	乳腺・内分泌外科	The Advantage of Using an Optical See-Through Head- Mounted Display in Ultrasonography- Guided Needle Biopsy Procedures: A Prospective Randomized Study	J Clin Med. 2023 Jan 8;12(2):512. doi: 10.3390/jcm12020512.	Original Article
250	Ono M, Miyamoto T, Fuseya C, et al.	産科婦人科	Anti-tumor effect of Wasabi component, 6-(methylsulfinyl) hexyl isothiocyanate, against endometrial carcinoma cells	Discov Oncol. 2023 Jan 23;14(1):9. doi: 10.1007/s12672-023- 00617-2.	Original Article
251	Yanagisawa D, Yuzuriha S.	形成再建外科	Lacrimal Plasty with Dacryocystorhinosto my-Anastomosis Using Microsurgery	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2023 Jan 6;11(1):e4730. doi: 10.1097/GOX.0000000000 0004730. eCollection 2023 Jan.	Original Article
252	Koizumi K, Uehara M, Oba H, et al.	整形外科	A challenging case of lumbar vertebral burst fracture with alcohol withdrawal delirium: A case report	Medicine (Baltimore). 2023 Jan 20;102(3):e32712. doi: 10.1097/MD.0000000000 032712.	Case Reports

253	Kurasawa S, Sado T, Kato S, et al.	小児科	Serum positivity of serum anti-tissue transglutaminase immunoglobulin A antibodies in Japanese children with inflammatory bowel disease	Pediatr Int. 2023 Jan;65(1):e15485. doi: 10.1111/ped.15485.	Original Article
254	Sagari A, Tabira T, Maruta M, et al.	保健学科	Risk factors for nursing home admission among older adults: Analysis of basic movements and activities of daily living	PLoS One. 2023 Jan 27;18(1):e0279312. doi: 10.1371/journal.pone.027 9312. eCollection 2023.	Original Article
255	Hara D, Kondo R, Shomura T, et al.	呼吸器外科	Impact of pneumothorax-like pulmonary collapse caused by rapid bronchial obstruction: A case report of pneumothorax ex vacuo	Respir Med Case Rep. 2023 Jan 25;42:101817. doi: 10.1016/j.rmcr.2023.1018 17. eCollection 2023.	Case Reports
256	Nakano M, Uenishi K, Nakamura Y, et al.	整形外科	Distinct dietary risk factors for incident osteoporotic fractures in early and late postmenopausal phase women	J Bone Miner Metab. 2023 Mar;41(2):227-238. doi: 10.1007/s00774-023- 01400-7. Epub 2023 Jan 30.	Original Article
257	Muranaka F, Kise E, Tokumaru S, et al.	消化器・移植・小児外科学分 野	Hereditary diffuse gastric cancer in a Japanese family with CDH1 mutation three case reports	Discov Oncol. 2023 Jan 31;14(1):14. doi: 10.1007/s12672-023- 00623-4.	Original Article

258	Sugiyama Y, Ishida K, Yoshiyama Y, et al.	麻醉科蘇生科	TRPV1 is involved in abdominal hyperalgesia in a mouse model of lipopolysaccharide-induced peritonitis and influences the immune response via peripheral noradrenergic neurons	Life Sci. 2023 Mar 15;317:121472. doi: 10.1016/j.lfs.2023.121472 . Epub 2023 Feb 5.	Original Article
259	Hanaoka Y, Koyama JI, Nakamura T, et al.	脳神経外科	Letter to the Editor. The need for further research on difficult ICA navigation in transradial neurointervention	J Neurosurg. 2023 Feb 17;139(1):302-303. doi: 10.3171/2023.1.JNS239.	Original Article
260	Masuo H, Shimizu A, Motoyama H, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Impact of endothelial nitric oxide synthase activation on accelerated liver regeneration in a rat ALPPS model	World J Gastroenterol. 2023 Feb 7;29(5):867-878. doi: 10.3748/wjg.v29.i5.867.	Original Article
261	Oba H, Ikegami S, Uehara M, et al.	整形外科	Impact of Physical Flexibility Changes on Respiratory Function after Posterior Spinal Fusion for Adolescent Idiopathic Scoliosis Surgery	Spine Surg Relat Res. 2022 Oct 13;7(1):52-59. doi: 10.22603/ssrr.2022-0120. eCollection 2023 Jan 27.	Original Article

262	Miyashita R, Kitazawa M, Tokumaru S, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Importance of intraoperative indocyanine green imaging in the management of non-occlusive mesenteric ischemia: a case report	Surg Case Rep. 2023 Feb 27;9(1):31. doi: 10.1186/s40792-023-01614-x.	Original Article
263	Yamaguchi N, Kiniwa Y, Hayashi R, et al.	皮膚科	Case of autosomal recessive woolly hair/hypotrichosis with compound heterozygous mutations in the LIPH gene at c.742C>A and c.614A>G: The first Japanese case	J Dermatol. 2023 Feb 28. doi: 10.1111/1346-8138.16761. Online ahead of print.	Letter
264	Minagawa A, Meling MT, Koga H, et al.	皮膚科	Near-ultraviolet Light Dermoscopy for Identification of Pigmented Skin Tumours	Acta Derm Venereol. 2023 Feb 28;103:adv00876. doi: 10.2340/actadv.v103.5302.	Original Article
265	Sakai H, Notake T, Shimizu A, et al.	消化器・移植・小児外科学分野	Risk factors for postoperative cholangitis after pancreaticoduodenectomy and evaluation of internal stenting on hepaticojejunostomy: A single-center propensity score-based analysis	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2023 Mar 3. doi: 10.1002/jhbp.1322. Online ahead of print.	Original Article

266	Nakamura K, Yoshinaga T, Kodaira M, et al.	遺伝子医療研究センター	Long-term Observation of a Japanese Patient with a Multiple-system Neurodegenerative Disorder with a Uniallelic de novo Missense Variant in KIF1A	Intern Med. 2023 Mar 8. doi: 10.2169/internalmedicine. 1184-22. Online ahead of print.	Original Article
267	Iwasa YI, Shimizu M, Matsuura K, et al.	耳鼻咽喉科頭頸部外科	Prognostic significance of pre- and post-treatment hematological biomarkers in patients with head and neck cancer treated with chemoradiotherapy	Sci Rep. 2023 Mar 8;13(1):3869. doi: 10.1038/s41598-023- 30584-1.	Original Article
268	Sato M, Mochizuki Y, Takahashi Y, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Neurofilament light chain as a biomarker for monitoring response to change in treatment in hereditary ATTR amyloidosis	Amyloid. 2023 Mar 12:1- 2. doi: 10.1080/13506129.2023.2 187678. Online ahead of print.	Original Article
269	Kumeda H, Saito G, Eguchi T, et al.	呼吸器外科	Clinical features of recurrent spontaneous pneumomediastinum	J Thorac Dis. 2023 Feb 28;15(2):462-471. doi: 10.21037/jtd-22-1141. Epub 2023 Feb 7.	Original Article
270	Yamazaki K, Ogiwara T, Kitamura S, et al.	脳神経外科	Endoscopic Evacuation of Putaminal Hemorrhage Using the Trans-Middle Temporal Gyrus Approach: Technical Notes and Case Presentations	J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg. 2023 Mar 13. doi: 10.1055/a-2053- 2999. Online ahead of print.	Original Article

271	Oiwa A, Hiwatashi D, Takeda T, et al.	糖尿病・内分泌代謝内科	Efficacy and safety of low-dose spironolactone for chronic kidney disease in type 2 diabetes	J Clin Endocrinol Metab. 2023 Mar 14;dgad144. doi: 10.1210/clinem/dgad144. Online ahead of print.	Original Article
272	Kubota Y, Hanaoka Y, Koyama JI, et al.	脳神経外科	Surgical revascularization for quasi-moyamoya disease associated with polyneuropathy, organomegaly, endocrinopathy, monoclonal gammopathy, and skin changes (POEMS) syndrome: a case report and literature review	Nagoya J Med Sci. 2023 Feb;85(1):141-149. doi: 10.18999/nagjms.85.1.141	Review
273	Yamazaki D, Ogihara N, Yako T, et al.	脳神経外科	Transorbital penetrating head injury by a wooden chopstick in the cavernous sinus: a case report and literature review	Nagoya J Med Sci. 2023 Feb;85(1):179-184. doi: 10.18999/nagjms.85.1.179	Review
274	Kubota Y, Hanaoka Y, Aoyama T, et al.	脳神経外科	Single-lane clipping technique for a ruptured aneurysm of A1 fenestration of the anterior cerebral artery: a case report and literature review	Nagoya J Med Sci. 2023 Feb;85(1):157-166. doi: 10.18999/nagjms.85.1.157	Review
275	Yamada S, Maruyama Y,	小児科	Pachydermodactyly	Pediatr Int. 2023 Jan-Dec;65(1):e15529. doi:	Case Reports

276	Takazawa A, Yoshimura Y, Okamoto M, et al.	整形外科	The usefulness of immunohistochemistry for phosphohistone H3 as a prognostic factor in myxoid liposarcoma	Sci Rep. 2023 Mar 23;13(1):4733. doi: 10.1038/s41598-023-31896-y.	Original Article
277	Iwanami J, Mutai H, Sagari A, et al.	保健学科	Relationship between Corticospinal Excitability While Gazing at the Mirror and Motor Imagery Ability	Brain Sci. 2023 Mar 9;13(3):463. doi: 10.3390/brainsci13030463	Original Article
278	Takahashi Y, Kodaira M, Yamada M, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Anterior horn damage in brachial multisegmental amyotrophy with superficial siderosis and dural tear: an autopsy case report	BMC Neurol. 2023 Mar 29;23(1):129. doi: 10.1186/s12883-023-03180-z.	Case Reports
279	Matsuda H, Minagawa T, Oike H, et al.	泌尿器科	[IMPACT OF GENERAL FATIGUE ON TREATMENT PERIOD AFTER INDUCTION OF ENZALUTAMIDE FOR CASTRATION-RESISTANT PROSTATE CANCER]	Nihon Hinyokika Gakkai Zasshi. 2022;113(2):63-67. doi: 10.5980/jpnjurol.113.63.	Original Article
280	Kitajima K, Oiwa A, Miyakoshi T, et al.	糖尿病・内分泌代謝内科	Interval walking training in type 2 diabetes: A pilot study to evaluate the applicability as exercise therapy	PLoS One. 2023 May 18;18(5):e0285762. doi: 10.1371/journal.pone.0285762. eCollection 2023.	Original Article

281	Yamaguchi T, Hayashi S, Nagai S, et al.	遺伝子医療研究センター	Case report: further delineation of AEBP1-related Ehlers-Danlos Syndrome (classical-like EDS type 2) in an additional patient and comprehensive clinical and molecular review of the literature	Front Genet. 2023 May 5;14:1102101. doi: 10.3389/fgene.2023.1102101. eCollection 2023.	Case Reports
282	Yamanaka E, Horiuchi Y, Nojima I., et al.	保健学科	EMG-EMG coherence during voluntary control of human standing tasks: a systematic scoping review	Front Neurosci. 2023 May 12;17:1145751. doi: 10.3389/fnins.2023.1145751. eCollection 2023.	Review
283	Lu YU, Miyamoto T, Takeuchi H, et al.	産科婦人科	PPAR $\alpha$ activator irbesartan suppresses the proliferation of endometrial carcinoma cells via SREBP1 and ARID1A	Oncol Res. 2023 May 24;31(3):239-253. doi: 10.32604/or.2023.026067. eCollection 2023.	Original Article
284	Nasuno M, Yokoyama Y, Motobayashi M, et al.	遺伝子医療研究センター	Targeted temperature management at 36°C is a risk factor for ventilator-associated pneumonia	Pediatr Int. 2023 Jan-Dec;65(1):e15556. doi: 10.1111/ped.15556.	Original Article

計284件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 ① 「臨床研究に関する標準業務手順書」・・・ 「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」 に基づいて、国立大学法人信州大学医学部・附属病院における研究者が主導して行う 人を対象とする医学系研究の実施に必要な手続きと運営に関する手順を定めている。 ② 「倫理審査申請の手順」・・・倫理審査申請から承認、研究の実施までの流れを定めている。 ③ 「他の研究機関からの審査依頼に関する標準業務手順書」・・・他の研究機関の長から人を対 象とする医学系研究の審議を依頼された場合の手順を定めている。	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に  
「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員 会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 ・ 国立大学法人信州大学臨床研究に係る利益相反マネジメント規程による	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員 会の開催状況	年 回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年数回 (適宜)
・ 研修の主な内容 eAPRINのe-learning受講による教育研修	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

後期研修 一般循環器内科コース，循環器内科サブスペシャリティ取得コース，大学院・研究コース，一般皮膚科コース，大学院・研究コース，皮膚科サブスペシャリティ取得コース，一般整形外科コース，大学院・研究コース，整形外科サブスペシャリティ取得コース，一般産婦人科医学コース，研究コース，産婦人科サブスペシャリティ取得コース，麻酔科専門医コース その1（卒後臨床研修2年終了後，大学院・学位取得），麻酔科専門医コース その2（卒後臨床研修2年終了後，大学院・関連病院間連携），特殊歯科・口腔外科アドバンストコース
専攻医研修（基本領域） 内科専門研修プログラム，精神科専門研修プログラム，小児科専門研修プログラム，皮膚科専門研修プログラム，放射線科専門研修プログラム，外科専門研修プログラム，整形外科専門研修プログラム，脳神経外科専門研修プログラム，泌尿器科専門研修プログラム，眼科専門研修プログラム，耳鼻咽喉科頭頸部外科専門研修プログラム，産婦人科専門研修プログラム，麻酔科専門研修プログラム，形成外科専門研修プログラム，救急科専門研修プログラム，リハビリテーション科専門研修プログラム，臨床検査専門研修プログラム，病理専門研修プログラム

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	148人
-------------	------

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
花岡 正幸	呼吸器・感染症 ・アレルギー内科	診療科長	34年	
梅村 武司	消化器内科	診療科長	29年	
上條 祐司	腎臓内科	専門診療科長	29年	
中澤 英之	血液内科	専門診療科長	22年	
関島 良樹	脳神経内科	診療科長	32年	
下島 恭弘	リウマチ・膠原 病内科	専門診療科長	24年	
駒津 光久	糖尿病・内分泌 代謝内科	診療科長	37年	
桑原 宏一郎	循環器内科	診療科長	32年	
鷺塚 伸介	精神科	診療科長	29年	
中沢 洋三	小児科	診療科長	27年	
奥山 隆平	皮膚科	診療科長	34年	
藤永 康成	放射線科	診療科長	30年	
副島 雄二	消化器外科 移植外科 小児外科	診療科長	32年	
瀬戸 達一郎	心臓血管外科	診療科長	28年	

伊藤 研一	乳腺・内分泌外科	診療科長	35年	
清水 公裕	呼吸器外科	診療科長	30年	
高橋 淳	整形外科	診療科長	31年	
堀内 哲吉	脳神経外科	診療科長	32年	
栗田 浩	特殊歯科・口腔外科	診療科長	36年	
小川 輝之	泌尿器科	副診療科長	25年	
村田 敏規	眼科	診療科長	37年	
工 穰	耳鼻咽喉科頭頸部外科	診療科長	29年	
塩沢 丹里	産科婦人科	診療科長	37年	
川真田 樹人	麻酔科蘇生科	診療科長	37年	
杠 俊介	形成外科	診療科長	34年	
今村 浩	救急科	診療科長	36年	
堀内 博志	リハビリテーション科	職付・特定雇用診療科長	31年	
上原 剛	病理診断科	職付・診療教授	26年	
上原 剛	臨床検査部	施設部長・職付・診療教授	26年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容：
  - 新人看護師、看護師ラダーに基づく研修
    - ・研修の期間・実施回数 4月～翌3月、79回
    - ・研修の参加人数 延べ1782名
  - 放射線障害予防研修
    - ・研修の主な内容 種類、線量測定、人体への影響、職業被ばくの線量限度等の研修
    - ・研修の期間 令和5年4月24日(月)～令和5年6月2日(金)（業務端末視聴）
    - ・研修回数 年1回実施 ・研修の参加人数 781人
  - 医療放射線安全利用の研修
    - ・研修の主な内容 医療被ばくの基本、放射線の正当化、防護の最適化等の研修
    - ・研修の期間 令和5年4月24日(月)～令和5年6月2日(金)（業務端末視聴）
    - ・研修の期間・実施回数 年1回実施 ・研修の参加人数 793人
  - MRI安全講習
    - ・研修の主な内容 磁場と電波の影響、吸着事故や火傷の防止、造影剤の副作用等の研修
    - ・研修の期間 令和5年1月23日(月)-2月17日(金)（業務端末視聴）
    - ・実施回数 年1回実施 ・研修の参加人数 485人
  - 医療機器研修
    - ・人工心肺装置及び補助循環装置,人工呼吸器,血液浄化装置,除細動器,閉鎖式保育器
    - ・研修の期間・実施回数：人工心肺及び補助循環装置：3回,人工呼吸器：4回,血液浄化装置：4回,除細動器：3回,閉鎖式保育器：2回
    - ・研修の参加人数 人工心肺及び補助循環装置:48人,人工呼吸器:50人,血液浄化装置:53人,除細動器:61人,閉鎖式保育:34人

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- ・研修の主な内容
  - ①看護職の管理者（師長）：マネジメント・コンパス
  - ②看護職の管理者（副看護師長）：PDPを使った問題解決
  - ③看護職の管理者（副看護師長）：組織分析
    - ・研修の期間・実施回数
    - ①5月～2月 講師との対話（20-30分/人）と実践発表（10分/人）
    - ②5月～11月 全3回
    - ③6月～11月 全3回
    - ・研修の参加人数
    - ①延べ60名、②延べ26名、③延べ48名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容

- がん診療に関するカンファレンスへの参加（日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師研修）
  - ・研修の期間・実施回数：2021年4月より5年間の研修、概ね週に1回の頻度
  - ・研修の参加人数：2名
  
- 新人看護師フィジカルアセスメント
  - ・研修の期間・実施回数 7月 1回
  - ・研修の参加人数 12名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 花岡 正幸
管理担当者氏名	副病院長（事務担当） 酒井 修， 総務課長 古澤 真紀，経営管理課長 紙谷 康弘， 経営推進課長 宮尾 勇人，医事課長 仙葉 伸吉， 医療支援課長 寺沢 隆

		保管場所	管理方法		
診療に関する諸記録	規 則 第 二 十 一 条 の 三 第 二 項 に 掲 げ る 事 項	病院日誌	総務課		
		各科診療日誌	診療録管理室		
		処方せん			
		手術記録			
		看護記録			
		検査所見記録			
		エックス線写真			
		紹介状			
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			
			電子化されている諸記録は、電子カルテシステムおよび部門システム内で管理している。紙媒体の諸記録は、診療録管理室が管理する記録保管庫で管理している。また診療録の本院外への持ち出しについては、「信州大学医学部附属病院診療録閲覧・貸出要項」により禁止している。		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規 則 第 二 十 一 条 の 三 第 三 項 に 掲 げ る 事 項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課		
		高度の医療の提供の実績	医事課		
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	経営管理課		
		高度の医療の研修の実績	医学部		
		閲覧実績	総務課		
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	規 則 第 一 条 の 十 一 第 一 項 に 掲 げ る 事 項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課		
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課		
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室		
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理室		
					（高度の医療技術の開発及び評価の実績）電子化されている諸記録は、事務部サーバー内で管理している。紙媒体の諸記録は、事務部の保管庫で管理している。

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室	電子化されている記録は感染制御室及び医事課医療安全係のシステム内で管理している。かつ紙媒体でも学内ルールにより5年間保存している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室	
	医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部		
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部		
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部		
	医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部		
	医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課		
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課		
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	経営管理課			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理室
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課
		医療安全管理部門の設置状況	医事課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課
		監査委員会の設置状況	医事課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	大学法人本部
		職員研修の実施状況	総務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
		管理者が有する権限に関する状況	総務課
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画      ② 現状
閲覧責任者氏名	病院長 花岡 正幸
閲覧担当者氏名	副病院長(事務担当) 酒井 修 総務課長 古澤 真紀 経営管理課長 紙谷 康弘 経営推進課長 宮尾 勇人 医事課長 仙葉 伸吉 医療支援課長 寺沢 隆
閲覧の求めに応じる場所	・総務課
閲覧の手続の概要 閲覧希望者より申請があった際には、総務課にて記録を閲覧させている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延 0 件	
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有																												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全管理に関する基本的な考え方</li> <li>医療安全管理のための組織に関する基本的事項</li> <li>医療安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針</li> <li>医療安全管理の確保を目的とした改善のための方策に関する基本的事項</li> <li>医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li> <li>医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本事項（患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む）</li> <li>患者からの相談への対応に関する基本方針</li> <li>その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li> </ul> </li> </ul>																													
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況																													
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（有）</li> <li>・ 開催状況：年12回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全管理委員会の内規に基づき、本院で発生した医療事故の原因究明のための調査・分析。分析結果を活用した改善方策の立案・実施・周知における事項の審議を行う。方策の実施状況についての調査、見直しとして、委員会構成員による関係部署の巡回等を行う。その他、重要な検討内容、患者への対応状況を含めて管理者への報告を行う。</li> </ul> </li> </ul>																													
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 合計102回																												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）： <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">部署医療安全管理者研修：医療安全に関する講義</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">1回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">医療情報管理研修：医療機関における情報管理のあり方について学ぶ講義</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">9回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">医療安全・感染制御室合同職員研修①：最近のインシデント事例より</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">16回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">医療安全・感染制御室合同研修②：病棟改修本格化！かわりゆく信大病院</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">16回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">医療従事者向け一次救命処置（BLS）研修：講義と実技</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">6回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">非医療従事者向け一次救命処置（BLS）研修：講義と実技</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">4回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">急変シミュレーション研修：部署での実践</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">9回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">医療安全推進週間記念講演：トラブル発生の現場でスタッフは何をするべきか？</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">1回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事例検討会（M&amp;Mカンファレンス、RCA分析等）</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">新採用者医療安全職員研修：医療安全に関する講義</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">14回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">中途採用者医療安全職員研修：医療安全に関する講義</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">1回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">超音波ガイド下中心静脈穿刺研修：講義と実技</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">23回</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">Safety plus研修：e-ラーニングツールを用いた講義</td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">1回</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right; vertical-align: bottom;">1回</td> </tr> </table> </li> </ul>		部署医療安全管理者研修：医療安全に関する講義	1回	医療情報管理研修：医療機関における情報管理のあり方について学ぶ講義	9回	医療安全・感染制御室合同職員研修①：最近のインシデント事例より	16回	医療安全・感染制御室合同研修②：病棟改修本格化！かわりゆく信大病院	16回	医療従事者向け一次救命処置（BLS）研修：講義と実技	6回	非医療従事者向け一次救命処置（BLS）研修：講義と実技	4回	急変シミュレーション研修：部署での実践	9回	医療安全推進週間記念講演：トラブル発生の現場でスタッフは何をするべきか？	1回	事例検討会（M&Mカンファレンス、RCA分析等）		新採用者医療安全職員研修：医療安全に関する講義	14回	中途採用者医療安全職員研修：医療安全に関する講義	1回	超音波ガイド下中心静脈穿刺研修：講義と実技	23回	Safety plus研修：e-ラーニングツールを用いた講義	1回		1回
部署医療安全管理者研修：医療安全に関する講義	1回																												
医療情報管理研修：医療機関における情報管理のあり方について学ぶ講義	9回																												
医療安全・感染制御室合同職員研修①：最近のインシデント事例より	16回																												
医療安全・感染制御室合同研修②：病棟改修本格化！かわりゆく信大病院	16回																												
医療従事者向け一次救命処置（BLS）研修：講義と実技	6回																												
非医療従事者向け一次救命処置（BLS）研修：講義と実技	4回																												
急変シミュレーション研修：部署での実践	9回																												
医療安全推進週間記念講演：トラブル発生の現場でスタッフは何をするべきか？	1回																												
事例検討会（M&Mカンファレンス、RCA分析等）																													
新採用者医療安全職員研修：医療安全に関する講義	14回																												
中途採用者医療安全職員研修：医療安全に関する講義	1回																												
超音波ガイド下中心静脈穿刺研修：講義と実技	23回																												
Safety plus研修：e-ラーニングツールを用いた講義	1回																												
	1回																												
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況																													

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）  
規定の名称「医療安全管理マニュアル」
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

インシデントの発見者または当事者が入力した業務端末内のインシデント報告システムにより、医療安全管理室でインシデントの発生を把握する。部署医療安全管理者にも報告内容が自動的にメールにて通知される。

影響レベル3b以上の事例については医療安全管理者のPHSあるいは公用携帯電話に直接連絡が入る。また、発見通知入力により医療安全管理室会議構成員に自動的にメールが送信される。インシデントレポート提出と報告については、1日1回まとめて医療安全管理室から医療安全管理室会議構成員にメール配信を行い、全員が確認している。

毎週木曜日に医療安全管理室ミーティングを開催し、全週1週間分のインシデントレポート内容について検討している。

事例の問題分析については、各部署で事例ごとに再発防止策を検討する。複数の職種や部署が関与する事例、繰り返し発生する事例については、医療安全管理室の指導の下、各部署とともに事例分析を行う。

事例の改善策については、医療安全管理室ミーティングで毎週1回検討を行っている。

また、医薬品安全管理室及び医療安全管理室の連絡会議を月に1回開催している。前述の会議、その他の会議により、各部署及び医療安全管理室などで立案し、医療安全管理委員会が審議し改善策を決定している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療関連感染対策に関する基本的な考え方</li> <li>● 感染対策委員会の設置</li> <li>● 医療関連感染対策に関する職員研修</li> <li>● 医療関連感染発生時の対応</li> <li>● 医療関連感染対策ガイドライン</li> <li>● 患者等に対する当該指針の閲覧及び情報提供と説明に関する基本方針</li> </ul> </li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 抗菌薬使用動向報告</li> <li>● JANIS検査部門還元情報報告/感染症レポート</li> <li>● 医療関連感染に関する啓発及び職員研修の企画、実施</li> <li>● 医療関連感染ガイドライン等の改訂についての審議（インフルエンザ、HIV感染症対策）</li> <li>● アウトブレイク事象についての対応、報告、職員への周知（VRE：ICU）</li> <li>● 職業感染対策（血液・体液曝露、結核接触者健診、ワクチン接種プログラム 等）についての実施及び報告</li> <li>● 医療関連感染サーベイランス（デバイス関連、耐性菌、プロセス 等）についての実施及び報告</li> <li>● 院内ラウンドの実施及び報告、改善活動報告、コンサルテーション対応</li> <li>● 感染防止対策地域連携加算に基づく相互チェックの実施及び報告</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症の対応</li> <li>● その他感染管理に関する事項の検討、審議、決定（病院フォーミュラリー、AST許可薬、職員対象のB型肝炎抗体価検査の実施 等）</li> </ul> </li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年16回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療関連感染対策に関するオリエンテーション：新規採用者、中途採用者、復帰者</li> <li>● 知っておきたい手術部位感染症：全職員</li> <li>● 感染対策～COVID-19で変わったこと・変わらないこと～：全職員、委託業者</li> <li>● 血液体液曝露予防～正しい習慣で自分とみんなを救う～：全職員、委託業者</li> <li>● 冬の感染症対策～COVID-19とインフルエンザ～：全職員、委託業者</li> <li>● 抗菌薬適正使用～未来に残す大切な薬～：全職員、委託業者</li> <li>● 研修医クルーズ（2回/年）：研修医</li> <li>● 看護部リンクナース研修コース（3回/年）：リンクナース</li> <li>● DVD研修：上記研修の未受講者（年2回参加に満たない職員）</li> </ul> </li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有）</li> <li>その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>● アウトブレイク対応（部署への介入）：高度耐性菌検出時の環境調査</li> <li>● 結核の接触者健診（2事例）</li> <li>● 病棟改修工事に関する感染対策の助言・提言</li> <li>● 新型コロナウイルス感染症対策本部の活動（ルールや対策等の発信、クラスター対応）</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医療用麻薬・向精神薬・覚醒剤原料の管理・取扱いについて（WEB研修） 2022/11/7～2022/12/5, 288名</li> <li>2) 医薬品安全使用のための講習会「医薬品を安全に使用するために～事例から再発防止につなげよう～」（WEB研修） 2022/12/23 ～2023/2/8, 212名</li> </ol> </li> </ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手順書の作成 (有)</li> <li>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：           <ol style="list-style-type: none"> <li>I. 医薬品の採用：薬事委員会の開催に基づく医薬品の採用</li> <li>II. 医薬品管理：手順に基づいた医薬品の購入および適正管理の実施、各部署での医薬品管理等</li> <li>III. 患者に対する医薬品使用：調剤、交付、過誤防止</li> <li>IV. 薬剤管理指導・病棟薬剤業務・周術期薬剤管理業務：適切な薬剤管理指導業務および病棟薬剤業務の実施、持参薬確認、周術期薬剤管理業務に関するプロトコル等</li> <li>V. 医薬品情報の収集・提供等：医薬品情報の収集、解析、評価、副作用報告、医薬品情報管理室と病棟薬剤師との連携、医薬品情報管理室と医療安全管理室との連携</li> <li>VI. 院内製剤：クラス分類等</li> <li>VII. 保険薬局との連携：疑義照会への対応等</li> </ol> </li> </ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)</li> <li>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： 成人型シトルリン血症患者に対する経口ピルビン酸ナトリウム治療</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：           <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 医薬品安全管理に係る内容の見直し、および医薬品安全管理のための業務手順書の改訂と院内への周知徹底</li> <li>2) 医薬品の安全管理に係る研修内容の検討と実施</li> <li>3) 医薬品の安全使用のための情報提供方法の工夫 メールによる全職員への配信、電子カルテ初期画面への掲示、院内向け薬剤部ホームページへの掲示、各診療科・病棟への書面等により通知している。添付文書内容は、添付文書データベースを月に1回更新し、最新の情報を診療端末にて閲覧可能としている。「医薬品医療機器等安全性情報」については、簡易版を作成し、医療安全管理室ニュースと合わせて配布及び回覧をしている。また、部署医療安全管理者会議にて冊子を案内・配布している。</li> <li>4) 医薬品情報室担当者と医療安全管理室担当者による、定期的（月1回）な連絡会議開催</li> </ol> </li> </ul>	

院内で発生した医薬品に係るインシデントや、院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じている。

5) 院内での医薬品副作用報告体制の整備

電子カルテシステムからの副作用報告を可能とし、周知および薬事委員会、医療安全管理委員会で報告を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年32回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：            新規機器の導入時の研修            特定機能病院に係る医療機器（人工呼吸器、人工心肺及び補助装置、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、放射線治療装置、CTエックス線装置、MRI装置）の研修            AED等、シリンジポンプ等必要な機器の研修</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 （有）</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：            年1回を基本とした定期点検            消耗品・定期部品交換、動作確認、漏電チェック等</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （有）</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</li>   <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：            Webサイトへの掲載            部署リスクマネージャー会議での連絡            研修会でのアンケート結果による研修内容の見直し            納入業者へ納入医療機器の情報提供の依頼</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 責任者の資格（医師・歯科医師）</li> <li>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</li> </ul> <p>医療安全管理責任者は副病院長（危機管理担当）が担っており、同時に医療安全管理部門の責任者及び医療安全管理委員長となり、医療の安全に関することを統括管理している。また、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、医療安全管理委員会の構成員となり医療安全に関する報告を行っている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（3名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 月1回の医薬品情報管理室（医薬品情報管理室主任、調剤室主任、医薬品安全管理者）と医療安全管理室による連絡会議では、院内で発生した医薬品に係るインシデントや、院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策について協議し、適切な措置を講じている。検討した内容は、医療安全管理委員会で審議したのち、部署医療安全管理者会議で報告、周知している。</li> <li>2) 薬事委員会、および医療安全委員会において、副作用症例報告、医薬品医療機器等安全性情報の周知を行っている。</li> <li>3) 特に重要な事項については、「医薬品の安全使用のための研修会」において、理解度確認テスト（解説付き）を行うことにより、受講者の理解を深めるようにしている。</li> </ol> </li> <li>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 審査済みの未承認薬等使用時は、処方・注射オーダーリングからの入力とし、患者限定・医薬品採用願書または薬剤保管依頼書、倫理委員会審査結果通知書を医薬品情報管理室に提出する。処方監査時に使用状況の把握を行う。また、医療安全管理室の専従薬剤師が、患者の使用状況について定期的に確認している。</li> <li>2) 登録状況、使用状況については、薬剤部主任会議（月1回開催）で報告を受けており、医薬品安全管理責任者に確実に伝達される。</li> </ol> </li> <li>・ 担当者の指名の有無（有）</li> <li>・ 担当者の所属・職種：             <p>（所属：薬剤部医薬品情報管理室 ， 職種 薬剤主任 ）</p> </li> </ul>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ 有 ）</li> <li>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内</li> </ul>	

容：診療録管理委員会での遵守状況の確認、指導及び医療安全管理委員会との情報共有

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<p>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 主に手術記録、退院時要約、インフォームド・コンセントに関する記録、カウンターサイン実施状況等を日常的に確認し、記載に不備が認められた場合に担当医へ指導を実施。記載が不十分な事例については、診療録管理委員会を通じて、各部署に周知を依頼</li><li>・ 新入職員入職時のオリエンテーションにおいて、診療録と診療報酬の関係に関する講義を担当</li><li>・ 卒後臨床研修医入職時のオリエンテーションにおいて、退院時要約の作成に関する講義を担当</li><li>・ 多職種による診療記録および退院時要約の質的監査を、それぞれ年2回実施。監査結果を診療録管理委員会へ報告するとともに主治医へのフィードバックを実施</li></ul>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
<p>・ 所属職員：専従（5）名、専任（0）名、兼任（9）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（6）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ インシデントレポート及び関係者からの事実確認に基づく医療事故等の判定</li><li>・ 医療事故発生時における記録等の確認及び指導並びに患者家族への対応状況の確認及び指導</li><li>・ 医療安全相談室からの医療事故の相談内容に関する事項</li><li>・ 医療の安全管理を推進するための啓発活動に関すること</li><li>・ 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び改善策の提案に関すること</li><li>・ 肺血栓塞栓症予防策の実施状況及び全死亡例のモニタリングに関すること</li><li>・ インフォームド・コンセントの適切な実施に関すること</li><li>・ その他医療の安全管理に係る連絡調整及び医療安全対策の推進に関すること</li></ul> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。 ※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（24件）、及び許可件数（24件）</p> <p>・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有）</p> <p>・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）</p> <p>・ 活動の主な内容： 高難度新規医療技術を用いた医療の提供に関する審査申請があった場合は、担当部門においてその提供の適否を審査する。当該医療技術実施後は、実施状況を確認する。</p>	

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（2件）、及び許可件数（2件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有 ）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有 ）
- ・ 活動の主な内容：  
未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に関する審査申請があった場合は、担当部門においてその提供の適否を審査する。当該医薬品使用時は、薬剤部内で情報共有し、担当薬剤師は副作用の発現等をモニターする。使用後は、使用状況を確認する。
- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有 ）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（ 有 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 290 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 91 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
  - ・ 医療安全管理部門に報告された事象の確認
  - ・ 適切に報告されているかの確認及び報告が不十分な場合の指導

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：京都大学医学部附属病院））
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名：札幌医科大学附属病院））
- ・ 技術的助言の実施状況  
京都大学医学部附属病院に対して、2022年10月3日（火）に実施。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況  
窓口「医療安全相談室」を設置し、医療安全相談室（個室）で相談。対応者は客観的・中立的な立場を遵守し、相談後の対応は患者等の意向を尊重しながら対応を行っている。対面の他、電話相談・投書箱でも対応を行っている。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

監査委員会からの意見の表明に関する事項については、研修該当事項がない為、実施なし。  
医療法施行規則改正に係る事項については、医療安全管理室主催の研修として実施。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

院内での研修実施予定は無し。

川真田樹人(病院長)は、2022年度特定機能病院管理者研修(継続受講)を2023年2月24日に受講済である。

塩沢丹里(医療安全管理責任者)は、2022年度特定機能病院管理者養成研修(継続受講)を2023年2月24日に受講済である。

今村浩(医療機器安全管理責任者)は、2022年度特定機能病院管理者養成研修(継続受講)について、業務多忙のため日程調整が叶わず受講できなかった。(前回受講2022年1月19日)

土屋広行(医薬品安全管理責任者)は、2022年度特定機能病院管理者研修(2回目以降の受講となる方対象)を2023年3月7日に受講済である。

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

令和元年6月12日~14日、公益財団法人日本医療機能評価機構 病院機能評価 一般病院3  
<3rdG:Ver.2.0> 受審。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況  
改善のために講ずべき措置はなかった。

・評価を踏まえ講じた措置  
改善のために講ずべき措置はなかった。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容                     <p>人格が高潔で、学識に優れ、かつ、本院における医療の質と安全性を確保し、高度医療の提供及び教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者で、以下の要件を満たす者。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 医師免許を有している者</li> <li>(2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者</li> <li>(3) 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者</li> <li>(4) 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有している者</li> </ol> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無（有）</li> <li>・ 公表の方法 本学公式サイトに掲載</li> </ul>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有）</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有）</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有）</li> <li>・ 公表の方法 本学公式サイトに掲載</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
永松 裕希	信州大学	○	学長が指名する理事	無
中山 淳	信州大学		規程に基づく役職指定	無
栗田 浩	信州大学		学長が指名する本院診療科長会構成員	無
今村 浩	信州大学		学長が指名する本院診療科長会構成員	無
鷺塚 伸介	信州大学		学長が指名する本院診療科長会構成員	無
小宮山 淳	松本秀峰中等教育学校長		学外の有識者で、病院経営や医学・医療に関する豊富な経験と高い見	無

			識を有している者	
神戸 美佳	弁護士		学外の有識者で、弁護士活動や様々な社会活動を通じた幅広い知識、経験を有しており、長野県内の社会福祉に関する見識も深い者	無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無			有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合議体の主要な審議内容 信州大学医学部附属病院の運営に関する重要事項を審議する。</li> <li>・ 審議の概要の従業者への周知状況 各診療科長宛に紙媒体にて通知するとともに、電子掲示板にて周知している。</li> <li>・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ 有 ）</li> <li>・ 公表の方法 WEBによる公表</li> <li>・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ 無 ）</li> </ul>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
川真田 樹人	○	医師	病院長
花岡 正幸		医師	副病院長（経営、広報、地域医療担当）
塩沢 丹里		医師	副病院長（危機管理担当）
栗田 浩		医師	副病院長（施設担当）
関島 良樹		医師	副病院長（管理・運営担当）
伊藤 寿満子		看護師	副病院長（看護部長）
三澤 剛		事務職員	副病院長（事務担当）
桑原 宏一郎		医師	
梅村 武司		医師	
中澤 英之		医師	
上條 祐司		医師	
下島 恭弘		医師	
駒津 光久		医師	
鷺塚 伸介		医師	病院長補佐（倫理担当）
中沢 洋三		医師	病院長補佐（国際化担当）
奥山 隆平		医師	病院長補佐（教育・研究担当）

藤永 康成		医師	病院長補佐（設備担当）
副島 雄二		医師	病院長補佐（診療担当）
瀬戸達一郎		医師	
清水 公裕		医師	
伊藤 研一		医師	
高橋 淳		医師	
堀内 哲吉		医師	
石塚 修		医師	病院長補佐（評価担当）
村田 敏規		医師	
工 穰		医師	
杠 俊介		医師	
今村 浩		医師	病院長補佐（災害対策担当）
関口 健二		医師	
堀内 博志		医師	
上原 剛		医師	
牛木 淳人		医師	
古庄 知己		医師	
本田 秀夫		医師	
大野 康成		医師	
小泉 知展		医師	
内藤 隆文		医師	
増田 雄一		医師	

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有）

- ・ 公表の方法  
WEBによる公表
- ・ 規程の主な内容
  - ・ 病院長は、病院の管理運営に関する業務を統括する。
  - ・ 副病院長は4人以内とし、そのうち1人は看護部長をもって充て、1人は事務部担当とし、それ以外の副病院長は、病院長が指名する。
  - ・ 病院長補佐は3人以内とし、信州大学医学部附属病院規程の第16条に規定する病院診療科長会の構成員のうちから、病院長が指名する。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
  - ・ 副病院長は、病院長の業務を補佐するとともに、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名した副病院長が、その職務を代行する。
  - ・ 病院長補佐は、病院長の求めに応じ、病院の管理運営に関する専門的事項について企画立案するとともに、当面する諸課題その他病院長が必要と認める事項について助言等を行う。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
  - ・ 川真田樹人（病院長）は、2022年度特定機能病院管理者研修（継続受講）を2023年2月24日に受講済である。
  - ・ 塩沢丹里（医療安全管理責任者）は、2022年度特定機能病院管理者養成研修（継続受講）を2023年2月24日に受講済である。
  - ・ 今村浩（医療機器安全管理責任者）は、2022年度特定機能病院管理者養成研修（継続受講）について、業務多忙のため日程調整が叶わず受講できなかった。（前回受講2022年1月19日）
  - ・ 土屋広行（医薬品安全管理責任者）は、2022年度特定機能病院管理者研修（2回目以降の受講となる方対象）を2023年3月7日に受講済である。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回（R5.1.20(金), R5.2.15(水)）</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医学部附属病院における医療安全管理責任者、医療安全管理室、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について、病院長等から報告を求め、又は必要に応じて資料の提出、関係者の委員会への出席等を求め確認を行うこと。</p> <p>(2) 必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。</p> <p>(3) 第1号及び第2号に掲げる業務について、その結果をホームページで公表すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（有）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（有）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p>信州大学医学部附属病院のウェブページ上で公開している。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
田内 克典	社会医療法人 財団慈泉会相 澤病院 病院長	○	医療に係る安全 管理に関する 識見を有する者	無	1
宗村 和広	信州大学経法 学部 教授		法律に関する 識見を有する者	無	1
土屋 恭子			医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

内部監査室において、当該年度の病院を含む各組織の業務に関し、監事による監査と連携し、監査を実施している。

・ 専門部署の設置の有無（ 有 ）

・ 内部規程の整備の有無（ 有 ）

・ 内部規程の公表の有無（ 有 ）

・ 公表の方法

WEBによる公表

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況</li>   <li>国立大学法人信州大学病院業務監督委員会を設置し、次に掲げる事項について、点検・監督を行う。             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 経営状況に関すること。</li> <li>(2) 予算及び決算に関すること。</li> <li>(3) 中期目標・中期計画に関すること。</li> <li>(4) 人事計画に関すること。</li> <li>(5) 学長が必要と認めた事項に関すること。</li> <li>(6) その他病院の管理運営に関する重要事項に関すること。</li> </ul> </li>   <li>・ 会議体の実施状況（年 6 回）</li>   <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有）（年 6 回）</li>   <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有）</li>   <li>・ 公表の方法 WEBによる公表</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人信州大学病院業務監督委員会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
永松 裕希	理事（総括担当（プロポスト））	○	無
藤澤 晃	理事（財務、環境施設担当）		無
清澤 研道	相澤病院		無
西垣 明子	長野県健康福祉部		無
井上 憲昭	JA 長野厚生連 富士見高原医療福祉センター		無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）</li><li>・ 通報件数（年0件）</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有）</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）</li><li>・ 周知の方法：医療安全管理マニュアル，病院オールメール（年2回），業務端末に掲載</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院ホームページ、病院概要冊子 (年 1 回発行) および病院広報誌 (年 4 回程度発行) 等により、病院の基本理念をはじめ診療科・診療部門等の取り組み等について、患者や他の医療機関等へ広く情報発信を行っている。</p> <p>また、2021年 5 月には書籍「よりよい医療を届けたいー信大病院の最新治療」を発行した。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	④・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>複数の診療科が連携し医療を提供するてんかん外来、周産期のこころの外来、頭痛外来、YS外来等の専門外来を開設している。</p>	